

使用方法

A-dec 200

デンタルチェアー、デリバリーとサポートシステム、スピットン、歯科ライト

著作権

Copyright 2021 A-dec, Inc. 無断複写・複製・転載を禁ず。

A-dec, Inc.は、本書の商品性や特定目的適合性に関する暗黙的保証を含むがこれらに限定されない、いかなる保証も行わないものではありません。A-dec, Inc.は、本書に含まれる誤りや本書の提供、履行、あるいは使用から派生するいかなる損害についても責任を負いかねます。本書の情報は、通知なく変更される場合があります。本書について不適切な記載を見つけた場合には、書面にて当社までご連絡ください。A-dec, Inc.は、本書に誤りがないことを保証するものではありません。

本書のいかなる部分も、A-dec, Inc.の書面による事前許可なくして、電子的もしくは機械的の別を問わず、いかなる形式や方法であっても複写、改ざん、提供してはなりません。これには、写真複写、記録、何らかの情報蓄積や情報検索方式などが含まれます。

商標およびその他の知的所有権について

A-dec、A-decロゴ、A-dec Inspire、Cascade、Century Plus、Continental、Decade、ICX、ICV、Performer、Preference、Preference Collection、Preference ICC、Radius、およびreliablecreativesolutionsは、米国およびその他の国におけるA-dec, Inc.またはその関連会社の登録商標です。また、A-dec 500、A-dec 400、A-dec 300、A-dec 200、EasyFlexもA-dec, Inc.の登録商標です。本書に掲載されているいずれの商標および商号も、商標の所有者から書面による明示的な許可を得ることなく、いかなる方法でも再現、複写、または編集することはできません。

タッチパッドの記号およびアイコンには、A-dec, Inc.の専有情報であるものがあります。これらの記号やアイコンの使用は、全体か一部かを問わず、A-dec, Inc.から書面による明示的な許可を得ない限り、固く禁じられています。

Acteonは、Financiere Acteon SASの登録商標です。

規制に関する情報および保証

当局から指定された規制に関する情報とA-decの保証については、『規制情報、仕様、および保証』（部品番号(P/N)86.0221.05)に記載されています。この文書は、www.a-dec.comのリソースセンターから入手できます。

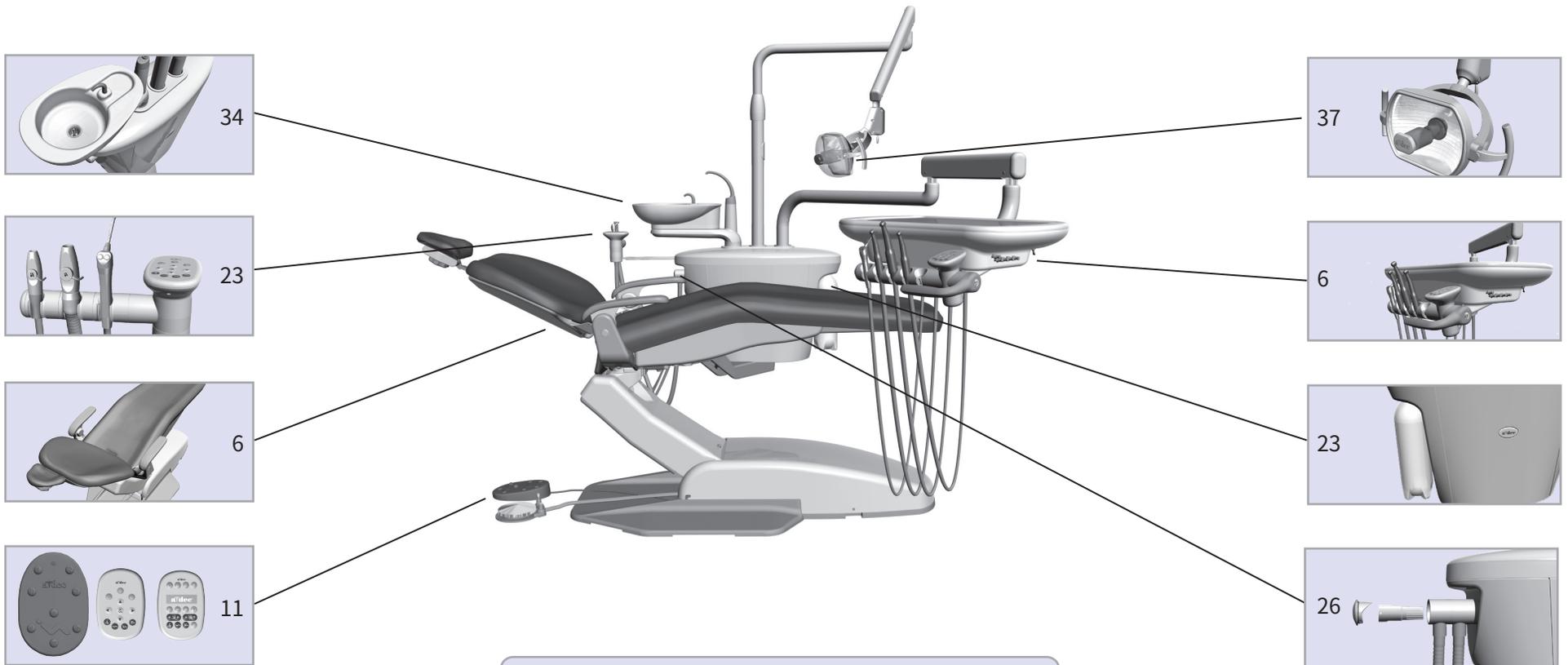
製品サービス

製品の保守点検については、最寄りのA-dec正規取扱店にご連絡ください。点検の詳細や正規販売代理店の所在地については、A-decにお電話いただくか(米国またはカナダ:1.800.547.1883、その他:1.503.538.7478)、www.a-dec.comを参照してください。

対象機種およびバージョン

機種	バージョン	説明
200	A	歯科用椅子/歯科助手用器具
200	B	デリバリーシステム/サポートシステム

内容マップ



クイックスタート	2
リファレンス.....	5
仕様および保証.....	43

クイックスタート

システム*の電源を入れます。



* チェアにA-dec 300デリバリーシステムが含まれる場合は、付属の『使用方法』を参照してください。

ウォーターボトルを調べ、水がほとんど空になったら追加します。

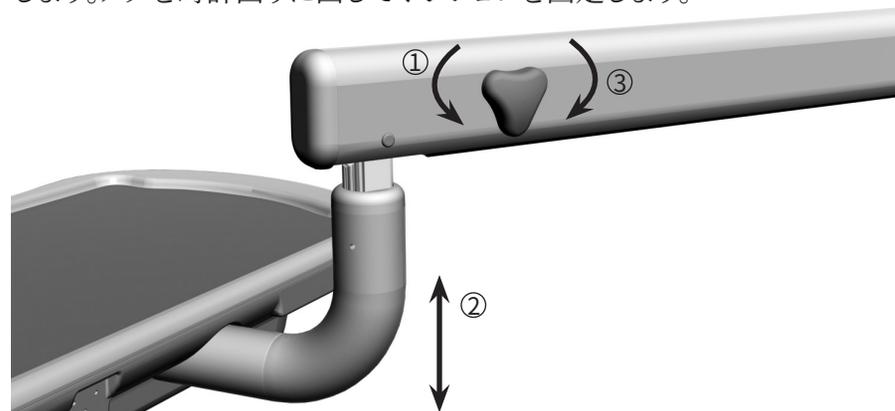


内蔵型給水システムの詳細については、42ページを参照してください。

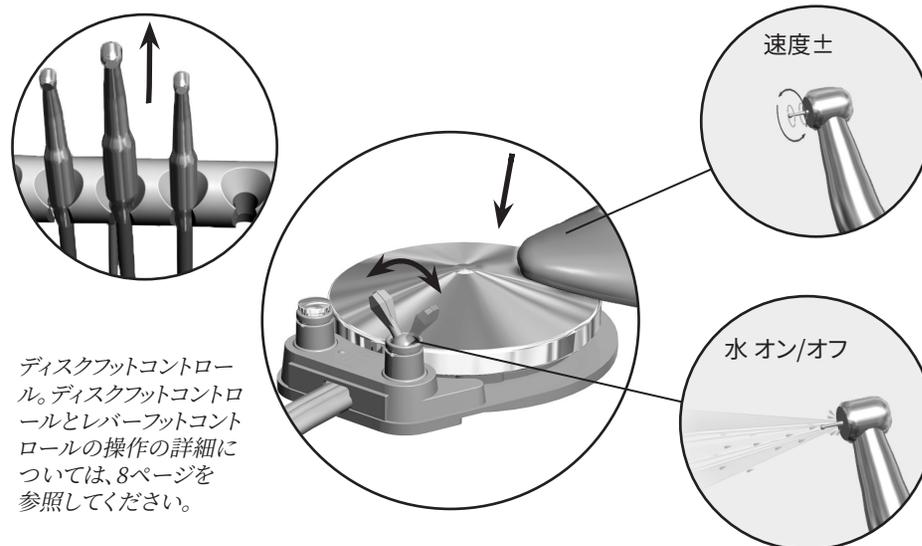


A-dec ICX® ウォーターライン処理タブレット

ノブを反時計回りに回してフレックスアームのブレーキを解除し、高さを調節します。ノブを時計回りに回してポジションを固定します。

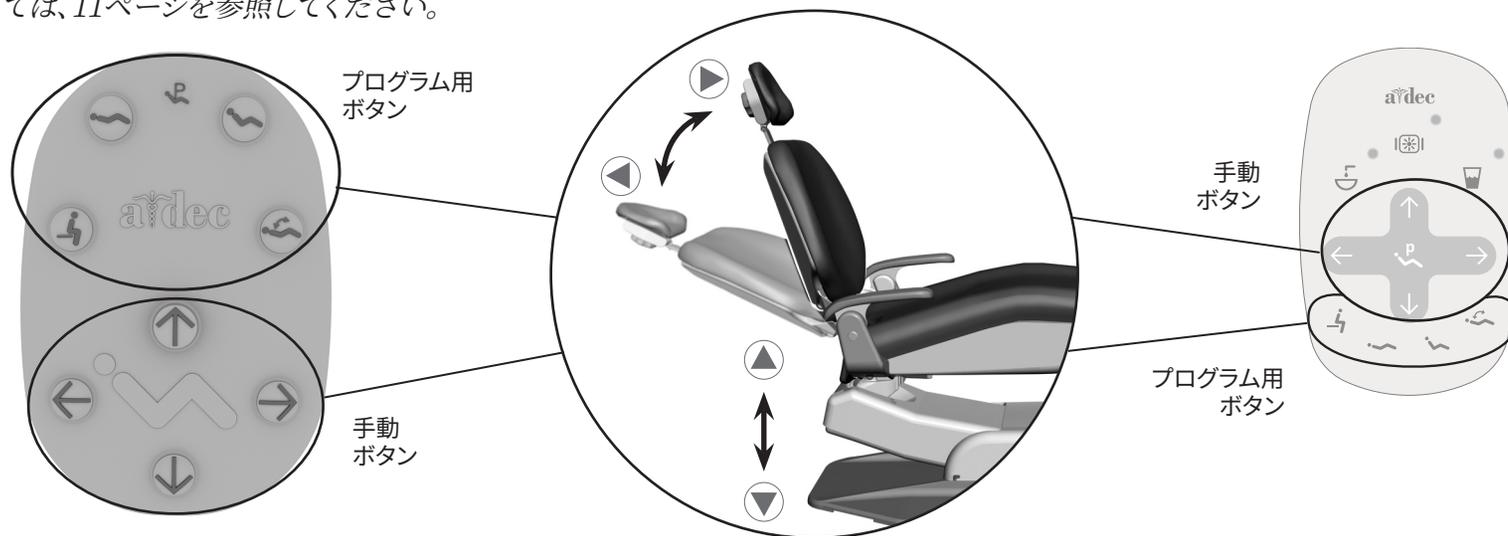


ハンドピースを持ち上げて起動します。フットコントロールスイッチを切り替えて、冷却水をオン/オフにします。ディスクを踏んで操作を開始します。

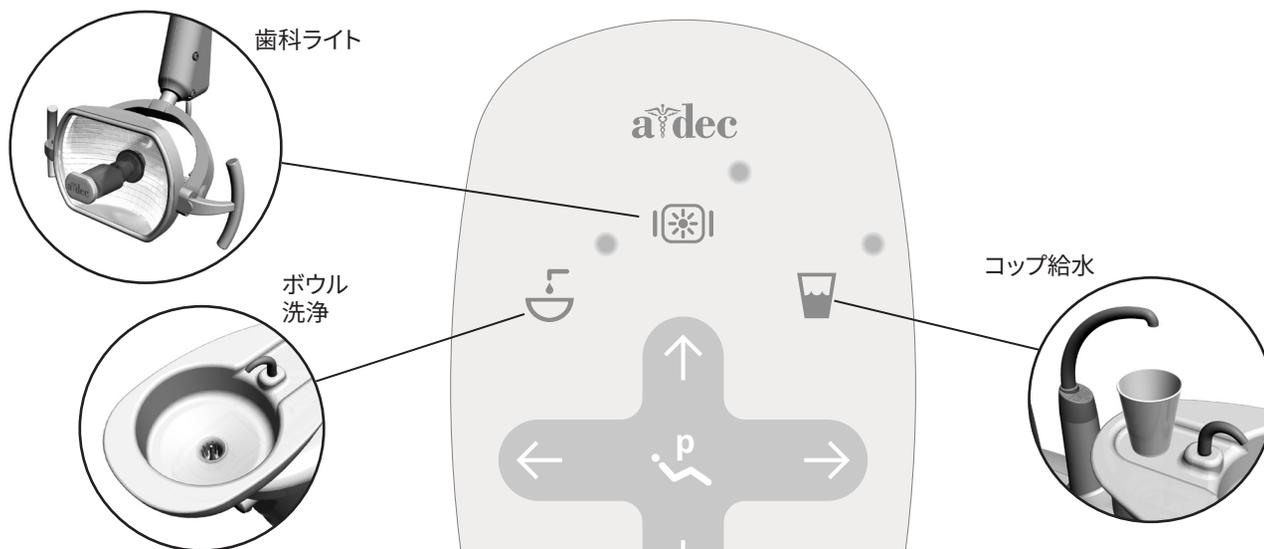


ディスクフットコントロール。ディスクフットコントロールとレバーフットコントロールの操作の詳細については、8ページを参照してください。

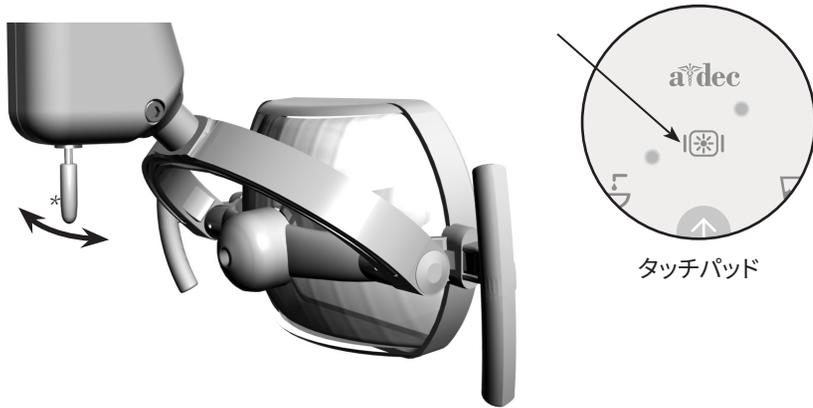
手動で、またはプログラム用ボタンを使って、チェアーの位置を設定します(表示は標準タッチパッド)。標準/デラックスタッチパッドのプログラム方法の詳細については、11ページを参照してください。



タッチパッドを使って、歯科ライトやスピットン機能を起動します。プログラム方法の詳細については、34ページと35ページを参照してください。

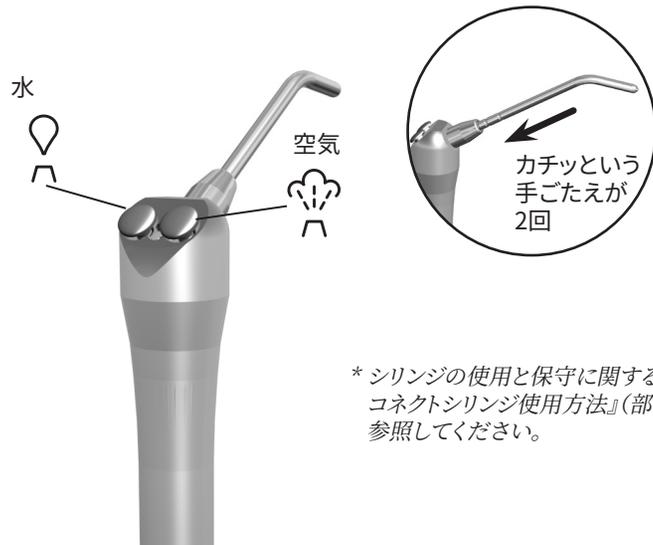


歯科ライトのトグルスイッチまたはタッチパッドの歯科ライトボタンを使って、ライトをオンにしたり、強度の高低を切り替えます*。



* このスイッチでタッチパッド付きチェアのライトの強度を切り替えることはできません。詳細については、37ページを参照してください。

A-decのシリンジ先端部を取り付けるには、カチッという手ごたえを2回感じるまで先端部を押し込みます。空気や水をスプレーするには、両方のボタンを同時に押します*。

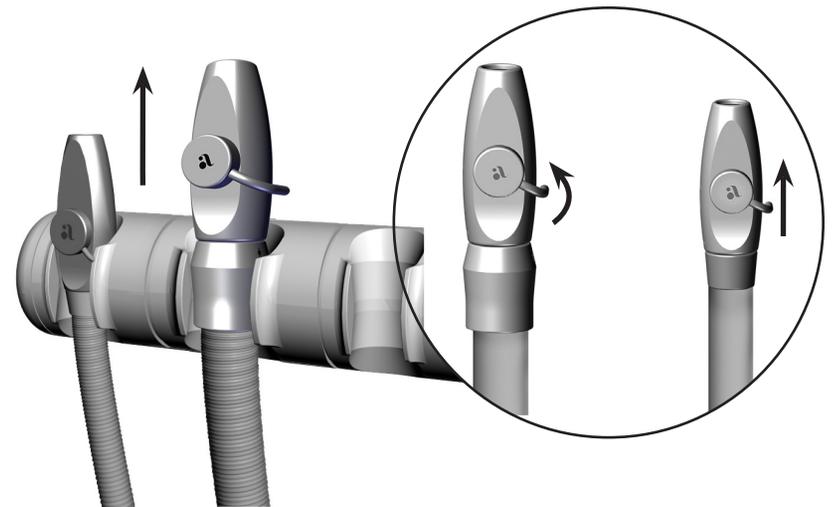


* シリンジの使用と保守に関する詳細は、『A-decクイックディスコネクトシリンジ使用方法』(部品番号(P/N)85.0680.05)を参照してください。

コップ給水とボウル洗浄機能はスピットタワーで制御します。



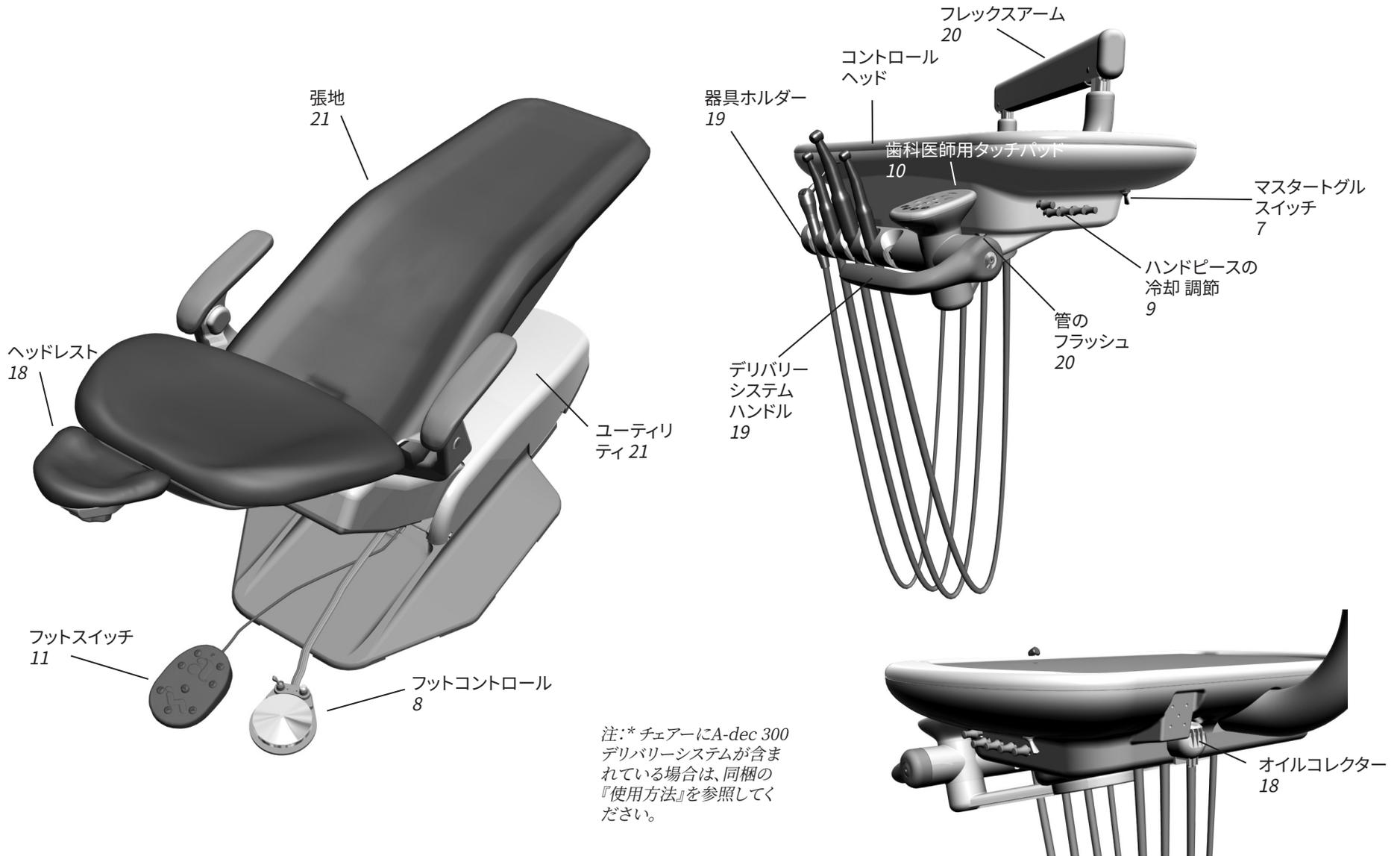
ホルダーから持ち上げてバルブを開き、バキューム器具を起動します(表示はA-decの器具)。DürrおよびA-decの器具の使用方法については、28～33ページを参照してください。



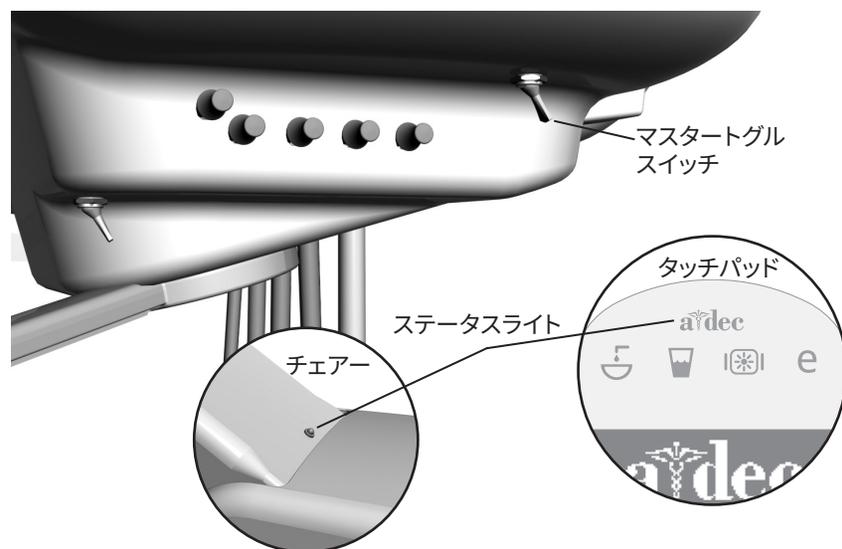
A-dec 200リファレンスセクション

デンタルチェアーとデリバリーシステム.....	6
歯科助手用器具.....	23
スピットン.....	34
歯科ライト.....	37
仕様.....	42
保証.....	43

デンタルチェアとデリバリーシステム



電源とシステムのステータス

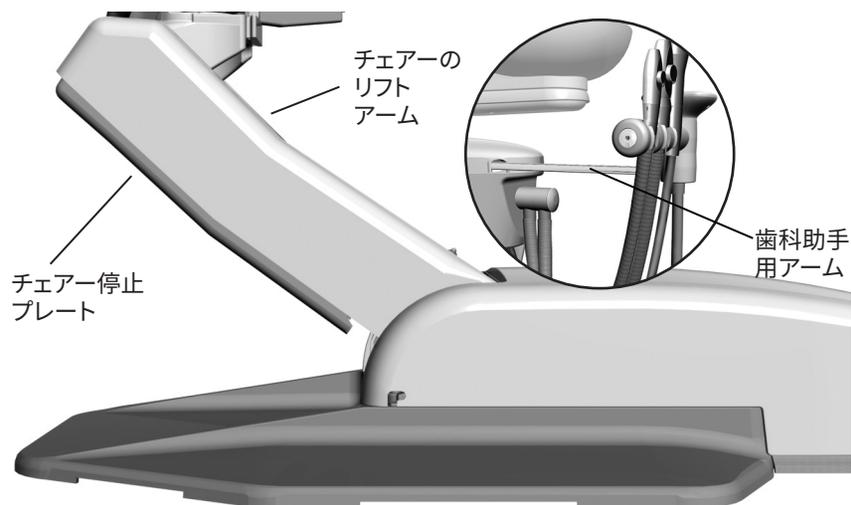


注 A-decでは、システムを初めて使用する前に、歯科治療ユニットウォーターラインでショッククリーニングを実行することをお勧めしています。詳しくは、25ページの『ウォーターラインの維持管理』を参照してください。

デンタルチェアーとシステムの電源は、デリバリーシステムのマスターグルスイッチで制御します。エネルギーを節約するため、1日の診療が終わった後、あるいは長時間使用しないときは電源をオフにしてください。修理点検の前は、必ず電源をオフにします。

タッチパッドにA-decロゴが表示された時点、あるいはデンタルチェアーのリフトアーム上のステータスライトが点灯した時点で、システムに電源が入り、使用準備完了となります。ステータスライトが点滅している場合、停止スイッチが起動しています。

安全機能



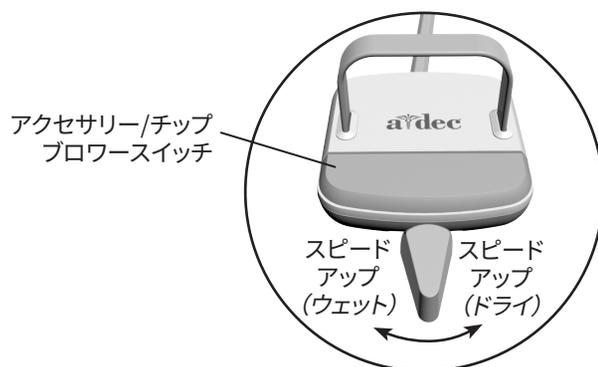
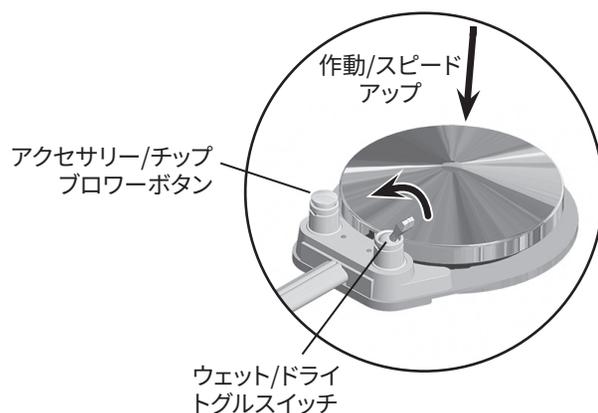
A-decデンタルチェアーとシステムには、安全性を向上するように設計された機能がいくつか組み込まれています。停止スイッチを起動すると、チェアーを停止したり、チェアーが動かないようにしたりすることができます。チェアーの動きが妨害されないようにするには：

- 障害物となりそうなものをチェアーおよび接続モジュールの下から取り除きます。
- フットコントロールディスクまたはレバーを押さないようにします。
- ハンドピースをホルダーに適切に収めます。

チェアーが不意に停止する場合

上記の対策を確認し、状況を改善してください。障害物のためにチェアーの下方向への動きが停止する場合は、タッチパッドかフットスイッチを使用してチェアーを上げて障害物を取り除きます。

ハンドピースの起動と操作



注 レバーフットコントロール機能は、反転させることができます(ドライにするには左方向に変更、ウェットにするには右方向に変更。ただし、この作業は技術者が行います)。詳細はA-dec 取扱店にお問い合わせください。

ハンドピースを起動するには、ホルダーから取り上げます。ハンドピースを目的どおりに操作するには、フットコントロールを使用します。

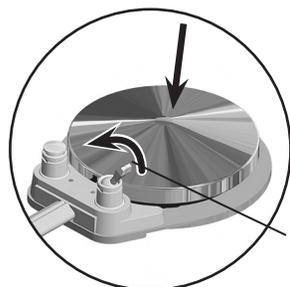
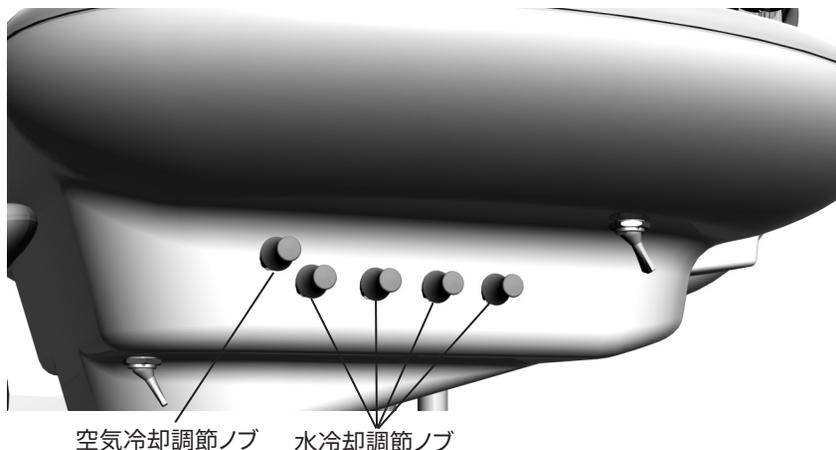
コントロール	操作	手順
ディスクフットコントロール	ハンドピースを作動させる。	ディスクを踏みます。スピードを上げるには踏み込みます。
	水冷却を切り替えてハンドピースを作動させる。	ウェット操作の場合はウェット/ドライ切替スイッチを青い点の方向に移動し、ドライ操作の場合は青い点と反対方向に移動します。その後でディスクを踏みます。
	オプションのアクセサリまたはチップブLOWERを作動させる。	アクセサリ/チップブLOWERのボタンを押します。*
	口腔内カメラを操作する。	ディスクを踏んで画像を取り込みます。*
レバーフットコントロール	水冷却を使用してハンドピースを作動させる。	レバーを左に動かします。スピードを上げるには、同じ方向へとさらに動かします。
	水冷却を使用せずにハンドピースを作動させる。	レバーを右に動かします。スピードを上げるには、同じ方向へとさらに動かします。
	オプションのアクセサリまたはチップブLOWERを作動させる。	アクセサリ/チップブLOWERスイッチを押します。*
	口腔内カメラを操作する。	レバーを右または左に動かし、画像を取り込みます。*

* 統合A-decアクセサリの操作や構成に関するご質問は、A-decの正規販売代理店にお問い合わせください。

ハンドピースの冷却調節については、9ページを参照してください。

ハンドピースの冷却調整

デリバリーシステムの冷却空気ノブでは、すべてのハンドピースポジションへのエアフローを同時に調節します。それぞれの冷却水ノブでは、単一ポジションへのウォーターフローを調節します。次の手順に従って、ハンドピースの冷却剤噴霧を調節してください。



ディスクフットコントロール



レバーフットコントロール

1. 調節するハンドピースにバーを挿入します。



注意 この手順の実行中、水または空気の流れを完全に止めようとししないでください。調節ノブは、流れを完全に止めるようには設計されていないため、力を入れすぎるとコントロールブロックが損傷することがあります。

2. 冷却空気が止まるまで、冷却空気調節ノブを時計回りに回します。
3. ハンドピースをホルダーから持ち上げ次のうちいずれかを行います。
 - ディスクフットコントロールの場合：ウェット/ドライ切替スイッチを水（青い点の方向）に動かして、ディスクを最後まで踏み込みます。
 - レバーフットコントロールの場合：レバーを左端まで動かします。
4. 調節するハンドピースポジションの冷却水調節ノブを探し、冷却水の流れが止まるまで時計回りに回します。
5. ハンドピースヘッドのすべてのウォーターポートから水滴が噴出するまで、冷却水調節ノブを反時計回りにゆっくりと回します。ハンドピースをホルダーに戻します。
6. 各ハンドピースで、上記のステップ3から5を繰り返します。
7. システムの冷却空気を設定するには、ハンドピースをホルダーから持ち上げます。
8. バーの切断面で目的の噴霧になるまで、冷却空気調節ノブを反時計回りに回します。



注意 空気冷却の出力を上げた後は、ハンドピースの冷却調節ノブを回し続けしないでください。ノブの軸がフローコントロールから外れてしまうことがあります。

9. 冷却水がさらに必要となる場合は、ステップ5で必要に応じて水の出力を上げます。

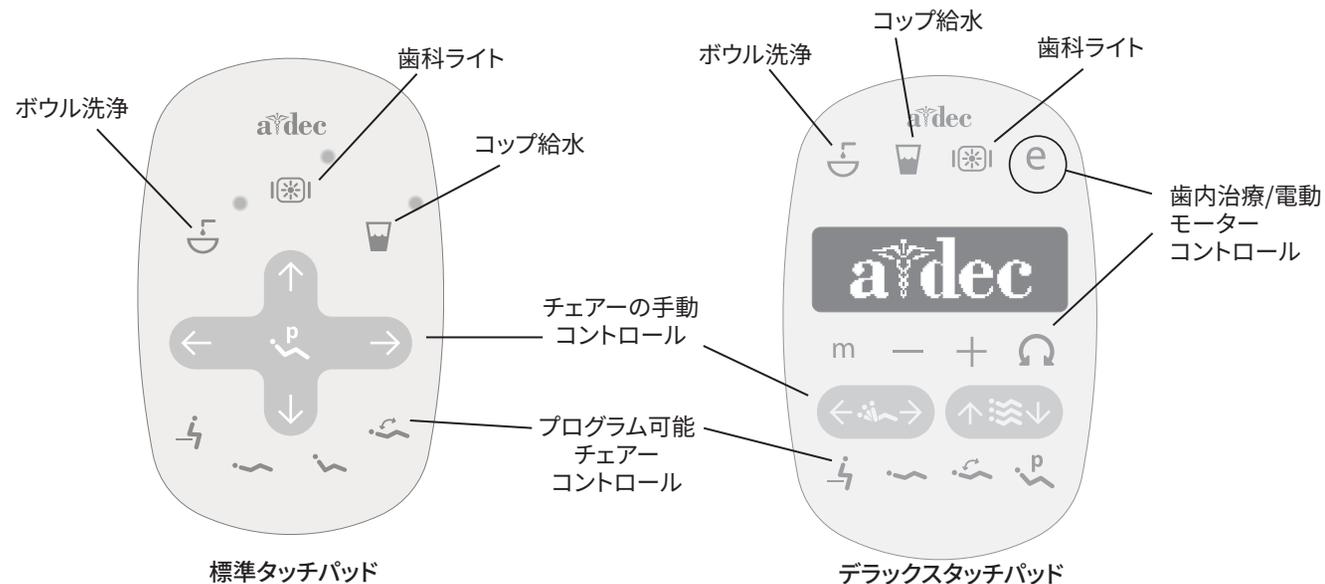
タッチパッドのコントロール



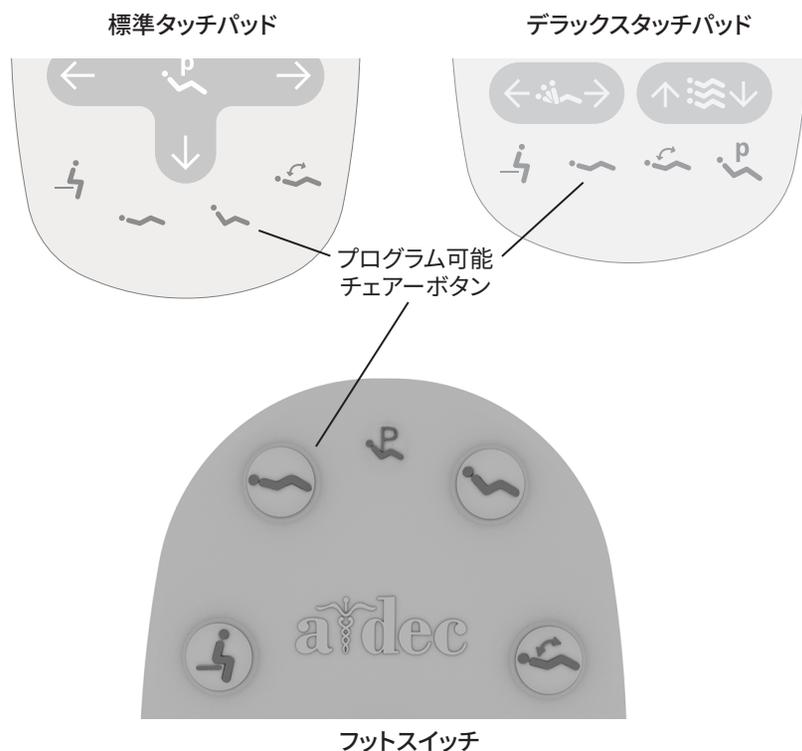
A-decのタッチパッドとフットスイッチでは、チェアを同じように動かすことができます。フットスイッチコントロールについては、11ページと12ページを参照してください。

タッチパッドの基本機能

A-dec 200システムには、スタンダードタッチパッドかデラックスタッチパッドまたはその両方が付属することがあります。スタンダードタッチパッドでは、チェア、スピットン、歯科ライトの機能を操作します。デラックスタッチパッドには電動モーターの機能が追加されており、その他の臨床用器具も統合されています。両方のタッチパッドには、手動コントロールとプログラム可能コントロールがあります。



タッチパッドのコントロール (続き)



プログラム可能なチェアのポジション

チェアは、手動またはプログラムされているプリセット値を利用して、フットスイッチまたはオプションのタッチパッドで操作できます。手動制御については3ページをご覧ください。プログラム用ボタンはチェアの制御に使う装置によって異なります。

フットスイッチ/ タッチパッド

説明と動作

-  **座る/降りる:**チェアを座る/降りるのポジションに動かします。歯科医師用タッチパッドが付いたシステムでは、歯科ライトをオフにすることもできます。
-  **治療1:**チェアのベースと背もたれを下げます。歯科医師用タッチパッドが付いたシステムでは、歯科ライトをオンにすることもできます。
-  **治療2*:**チェアのベースを下げ、背板を上げます。歯科医師用タッチパッドが付いたシステムでは、歯科ライトをオンにすることもできます。
-  **X線/洗浄:**チェアをX線/洗浄のポジションに動かします。もう一度押すとチェアを前のポジションに動かすことができます。歯科医師用タッチパッドが付いたシステムでは、歯科用ライトをオフにしたり、再びオンにすることもできます。

*デラックスタッチパッドには、治療2のボタンはありません。

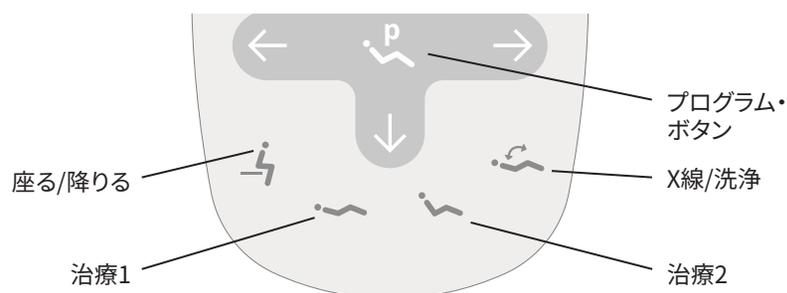


警告 患者が着席した後で安全を確認してから、手動でチェアを操作するか、プログラム可能チェアコントロールを使用してください。チェアの稼働中は患者から目を離さないでください。特に小さな子どもや体の不自由な患者には、常に細心の注意を払ってください。

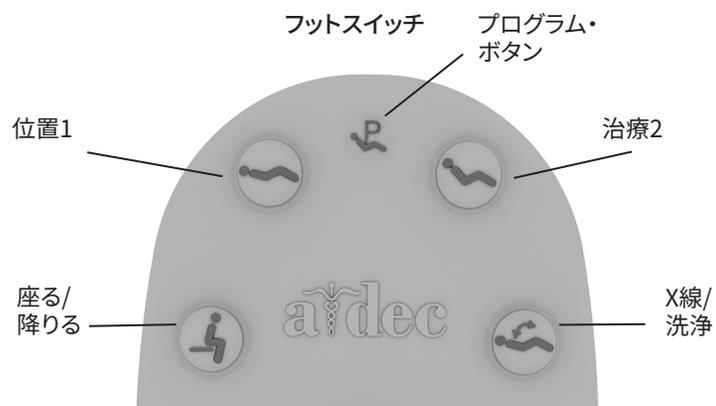
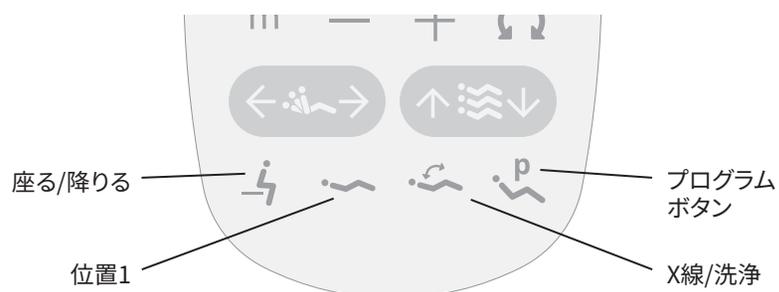
プログラムされた動きの最中にチェアの動きを止めるには、フットスイッチまたはタッチパッドのいずれかのチェアポジション設定ボタンを押します。

タッチパッドのコントロール (続き)

標準タッチパッド



Deluxeタッチパッド



座る/降りる、治療1、治療2*の各ボタンのプログラム変更

座る/降りるボタンと治療ボタン(、)にプリセットされているチェアポジションを変更するには:

1. 手動操作でチェアを希望のポジションに調節します。
2. **P** ボタンを押して離します。ビープ音が1回鳴り、プログラムモードになったことを示します。
3. プログラム内容を変更するチェアポジションボタン(、)を5秒以内に押します。ビープ音が3回鳴り、新しい設定がプログラムのメモリーに記憶されたことを知らせます。

*注: デラックスタッチパッドには、治療2のボタンはありません。

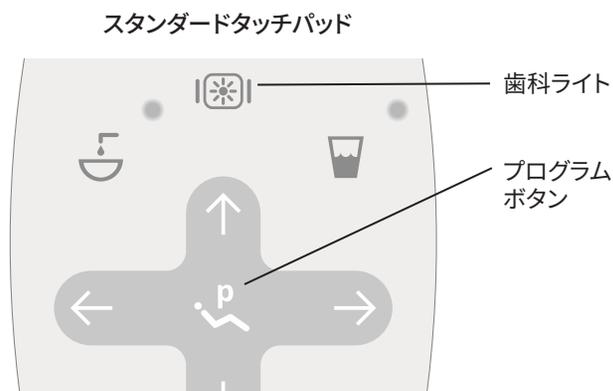
X線/洗浄ボタンのプログラム変更

X線/洗浄ボタン(、)は、チェアの背もたれを直立させて患者をまっすぐに座らせ、レントゲン撮影や洗浄がしやすいようにします。、ボタンをもう一度押すと、チェアが元の位置に戻ります。

、は、プログラム可能なその他のチェアプリセットボタンと同様の方法でプログラム変更できます。機能を変更するには:

1. **P** と、を同時に3秒間押します。
 - ビープ音1回は、、が別のプログラム可能チェアプリセットボタに設定されたことを表します。
 - ビープ音3回鳴は、、がX線/洗浄プリセットに設定されたことを表します(X線/洗浄と以前のチェアポジションとの間で切り替わります)。
2. 、を別のプログラム可能ボタンに変更して、別のチェアポジションを割り当てる場合は、上記の「座る/降りる、治療1、治療2*の各ボタンのプログラム変更」の手順に従ってください。

タッチパッドのコントロール (続き)



歯科用ライト自動オン/オフ

自動オン/オフ機能により、チェアが治療ポジションになると自動的にA-dec 歯科用ライトが点灯するようになっています。

← または → を押すと、歯科用ライトが消灯し、チェアがプリセットポジションに移動します。

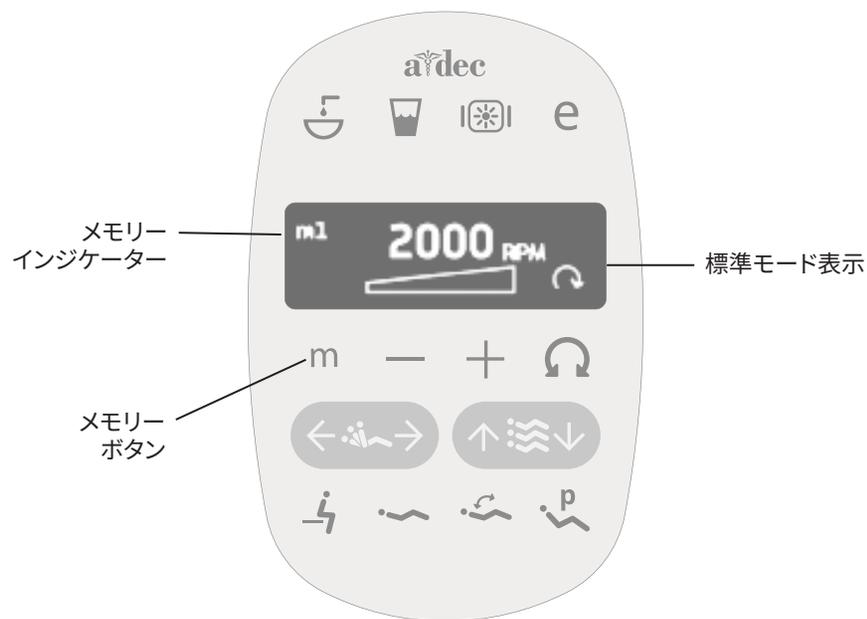
自動オン/オフ機能を無効にするには、ビープ音が1回鳴るまで、プログラムボタン  と  を同時に3秒押します。

自動オン/オフ機能を有効にするには、ビープ音が3回鳴るまで、プログラムボタン  と  を同時に3秒押します。



重要 歯科用ライトの機能に関する詳細は、歯科用ライトの使用方法を参照してください。

電気ハンドピースの設定 (デラックスタッチパッドのみ)



標準モード

電動モーターを起動するには、ハンドピースをホルダーから持ち上げます。タッチパッドスクリーンには、最後にハンドピースを使用したときの設定が表示されます。標準モードの場合、電動モーターに対して次の4つのプリセット速度が初期設定されています。

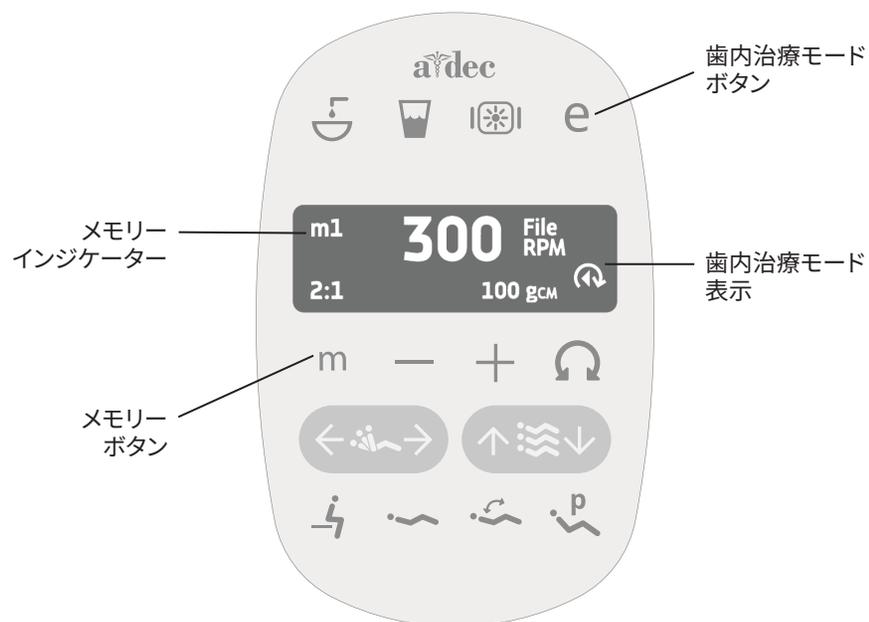
メモリ設定	初期設定のプリセット速度
m1	2,000 rpm
m2	10,000 rpm
m3	20,000 rpm
m4	36,000 rpm

これらのメモリ設定はプログラムし直し、独自のプリセット速度を適用することができます。ハンドピースごとに合計8つのカスタム設定を保存することが可能です(標準モードで4つ、歯内治療モードで4つ)。

ハンドピース設定をプログラムするには:

1. タッチパッドスクリーンに希望のRPM設定が表示されるまで、—または+を押します。
2.  を押して、この設定をメモリに保存します。ビープ音が1回鳴ります。
3. mを押して、m1からm4のメモリ設定を表示します。希望のメモリ設定が表示されたら、 を押します。設定が完了すると、ビープ音が3回鳴ります。

電気ハンドピースの設定 (デラックスタッチパッドのみ) (続き)



歯内治療モード

ハンドピースの回転速度調節に加え、歯内治療モードでは、特定のファイルや希望のハンドピースの動きに合わせて設定を変更できます。タッチパッドスクリーンのアイコンは、該当する設定をそれぞれ示します。



注 特定のファイルに関する回転速度制限やトルク制限については、ファイルのメーカーにお問い合わせください。

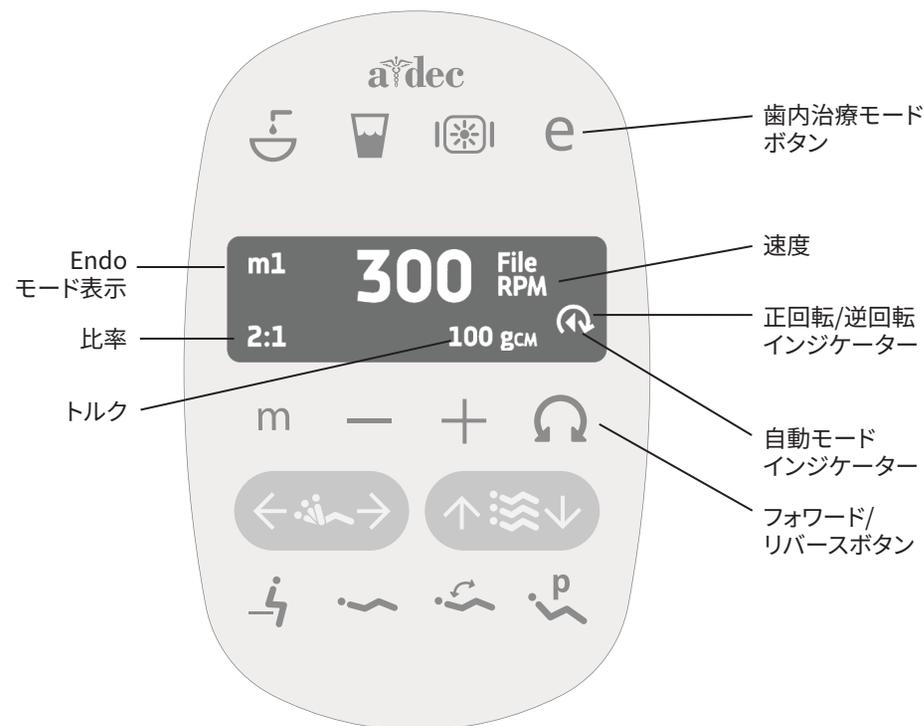
ハンドピース設定をプログラムするには:

1. ハンドピースをホルダーから取り上げます。
2. タッチパッドスクリーンに歯内治療モードが表示されていない場合は、**e**を押します。
3. 歯内治療モードの設定を変更するには、**—**または**+**を押します。白いリバースビデオボックスがタッチパッドスクリーンに表示されます。
4. チェアポジションボタンを使って、タッチパッドスクリーンの設定間を移動します。
5. **—**または**+**を押して、希望の設定に変更します。
6. **P**を押して、回転速度制限、トルク制限、比率の設定をメモリーに保存します。ビープ音が1回鳴ります。
7. **m**を押して、m1からm4のメモリー設定を表示します。希望のメモリー設定が表示されたら、**P**を押します。設定が完了すると、ビープ音が3回鳴ります。

電気ハンドピースの設定 (デラックスタッチパッドのみ) (続き)

歯内治療モードにおけるタッチパッドスクリーンのアイコン

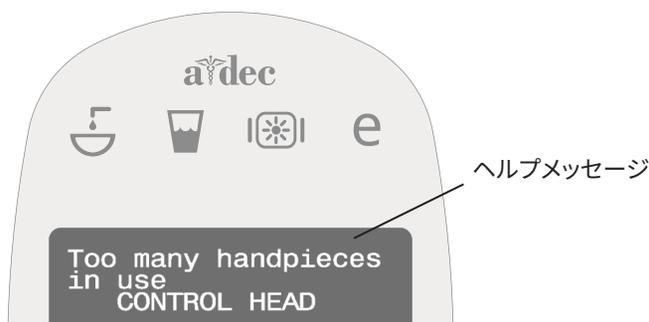
アイコン	設定	説明
	速度	ファイルの速度制限の設定値。詳細については、ファイルのメーカーにお問い合わせください。
	トルク	ファイルのトルク制限の設定値。詳細については、ファイルのメーカーにお問い合わせください。
	トルク単位	ニュートンセンチメートル (N・cm) とグラムセンチメートル (g・cm) を切り替えます。1つのハンドピースでこの設定を変更すると、すべてのハンドピースの設定が変更されます。 注: $1 N \cdot cm = 102 g \cdot cm$
	比率	ハンドピースの比率を設定します。詳細については、ハンドピースメーカーにお問い合わせください。
	自動モード	1つのハンドピースでこの設定を変更すると、すべてのハンドピースの設定が変更されます。自動モードインジケータは、正回転/逆回転インジケータ内に表示されます。
	自動停止	<ul style="list-style-type: none"> ファイルがトルク制限に達すると、モーターは停止します。
	自動逆回転	<ul style="list-style-type: none"> ファイルがトルク制限に達すると、モーターは停止してから方向が反転します。
	自動フォワード	<ul style="list-style-type: none"> ファイルがトルク制限に達すると、自動的にモーターが停止し、3回逆方向に回転した後で、元の方向に回転します。 <p>注: ファイルが引っかかってしまった場合、モーターが停止するまでに自動フォワードサイクルが3回繰り返されます。</p>



正回転/逆回転ボタン

正回転/逆回転ボタンで電動モーターの回転方向を切り替えます。初期設定では、ハンドピースをホルダーに戻したとき、またはシステムの電源を切ったときには、ハンドピースが正回転ポジションになるように設定されています。逆回転モードでは、スクリーンアイコンが点滅し続けます。

電気ハンドピースの設定 (デラックスタッチパッドのみ) (続き)



タッチパッドのヘルプメッセージ

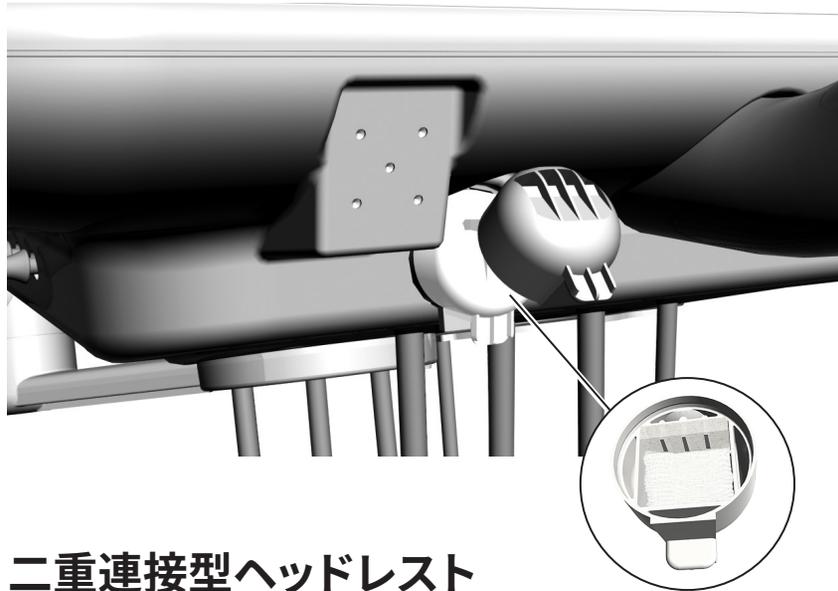
デラックスタッチパッドのスクリーンには、障害が発生した操作のヘルプメッセージが表示されます。ヘルプメッセージが表示されたら、保守が必要になったときのために、スクリーンに表示されているメッセージおよび実行中の機能を書き留めておいてください。ヘルプメッセージに関する情報は、『規制情報、仕様、および保証使用方法』（部品番号(P/N) 86.0221.05)に記載されています。この文書は、www.a-dec.comのドキュメントライブラリから入手できます。

ハンドピースとアクセサリーのその他の設定

ハンドピースとアクセサリーの次の設定を変更する場合は、A-decの正規販売代理店にお問い合わせください。

- **Auto-Off Delay** (オートオフ) – フットコントロールを放した場合に、ハンドピースのライトを点灯したままにする時間を決めます。初期設定は5秒です。
- **On When Selected** (選択時に点灯) – ホルダーからハンドピースを取り上げたときにハンドピースのライトを点灯するか消灯したままにするかを指定します。初期設定はオンです。
- **On in Endo** (歯内治療モード時に点灯) – 歯内治療モードが選択しているとき、ハンドピースのライトを点灯するか消灯するかを指定します。初期設定はオフです。過熱を避けて電球の寿命を延ばすため、この初期設定をお勧めします。
- **Ultrasonic Colors** (超音波器具の色分け) – Acteon®超音波器具の場合は、色分けされた先端部カテゴリーをオンにするかオフにするかを指定します。初期設定はオンです。
- **Voltage Adjustment** (電圧調節) – ハンドピースポジションごとにライトの出力電圧をカスタマイズできるようにします。初期設定は3.2 VDCです。

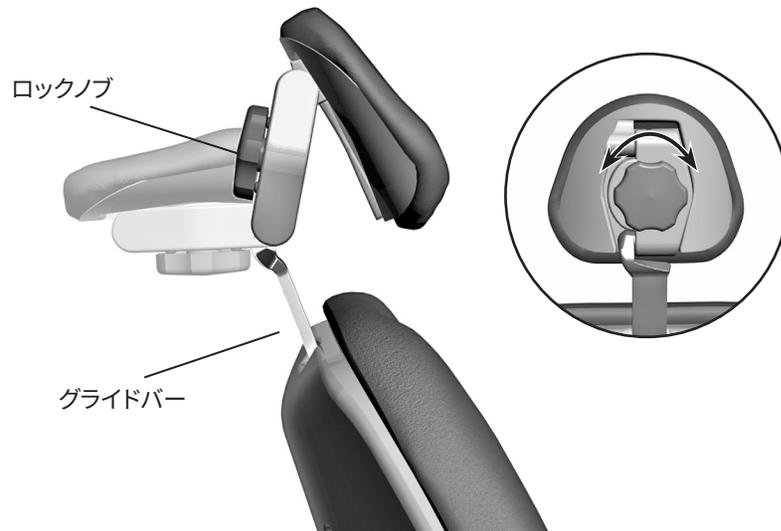
オイルコレクター



デリバリーシステムのオイルコレクターは、通常の使用においては週1回、頻繁に使用している場合はより頻繁に保守点検します。保守点検方法：

1. コントロールヘッドの下にあるオイルコレクターカバーのスナップを外し、古いガーゼを廃棄します。カバー内側のフォームマフラーは外さないでください。
2. 新しいガーゼパッド(51 mm x 51 mm [2 x 2 インチ])を四つ折にし、カバーの内側に入れます。
3. オイルコレクターのカバーを元に戻します。

二重接続型ヘッドレスト

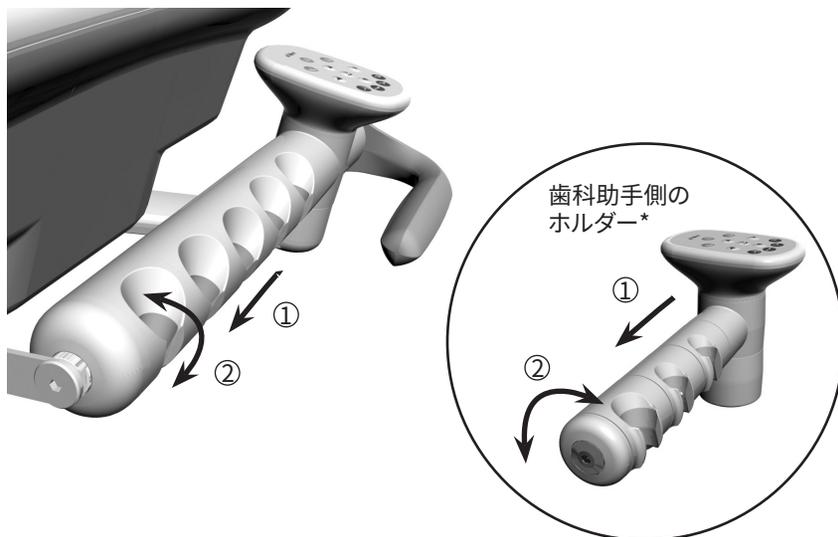


ロックノブの働きにより、ヘッドレストをどの位置にも固定することが可能です。ロックノブを反時計回りに回転してヘッドレストをリリースします。次に、ヘッドレストを適切な位置に調節します。ヘッドレストを希望の位置に合わせ、ノブを時計回りに回転して固定します。高さを微調整するには、ヘッドレストを上下にスライドさせます。



警告 グライドバーが推奨される高さの上限を超えると、患者側に警告が表示されます。この警告が表示されている位置では、ヘッドレストは使用できません。

器具ホルダーの調節

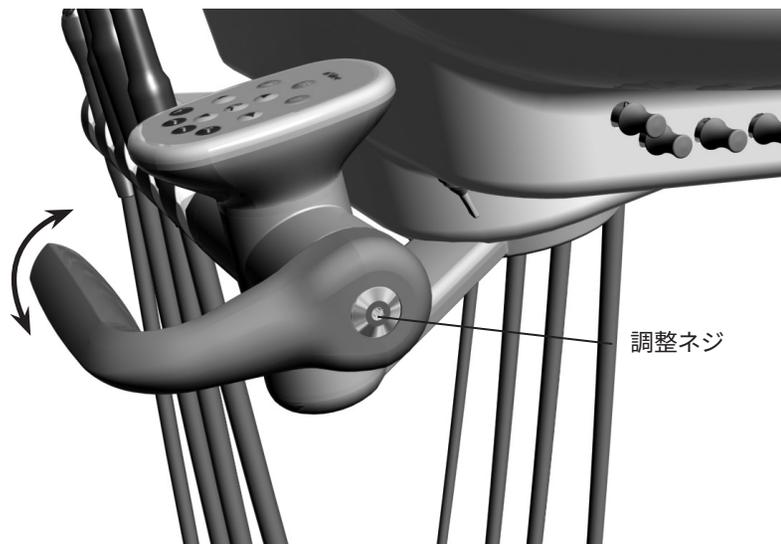


注意 隣接するホルダーから離さずにホルダーをひねると、メカニズムに損傷を与えることになります。

器具ホルダーは個別に回転するため、各ハンドピースに合わせてポジションをカスタマイズできます。ホルダーを隣接するホルダーから少し離し、希望の位置に回転させ、放します。

* 歯科助手側の器具に自動エア機能が含まれている場合は、ホルダーは一体となって回転します。

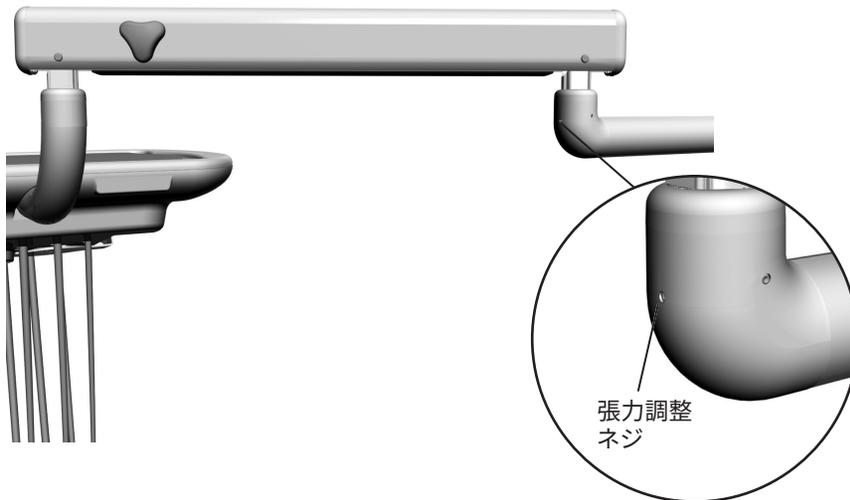
デリバリーシステムハンドルの調節



注意 装置が損傷する恐れがあるため、調整ネジを締める前にハンドルがホルダーと同一平面上にあることを確認してください。

5/32インチの六角レンチを使ってハンドルのポジションを調節します。調整ネジを反時計回りに回してゆるめ、ハンドルの位置を定め、ネジを締めてハンドルを固定します。

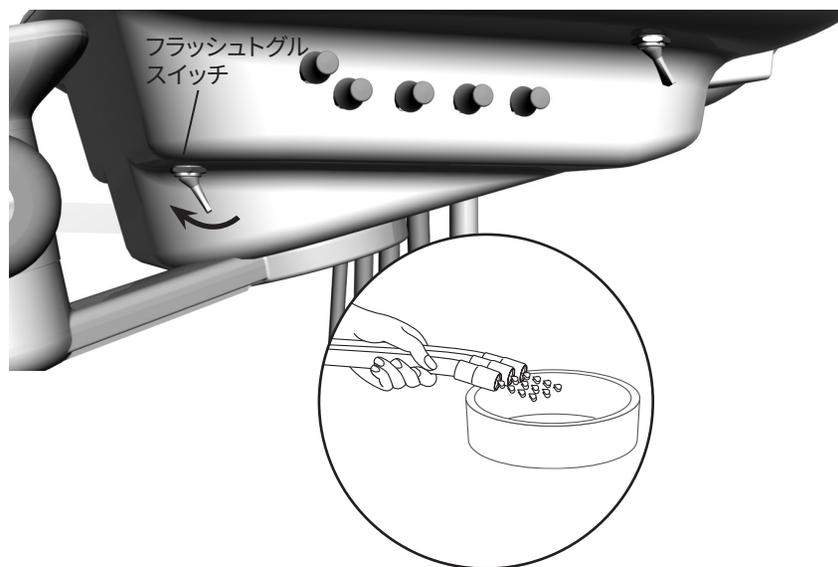
張力の調節



フレックスアームの回転

コントロールヘッドが左右にずれてしまう場合は、3/32インチの六角レンチを使ってフレックスアームの回転張力を調節します。ネジを時計回りに回すと張力が高まり、反時計回りに回すと張力が緩みます。

推奨されるクリーニングと滅菌方法



ハンドピース管のクリーニングと手入れ

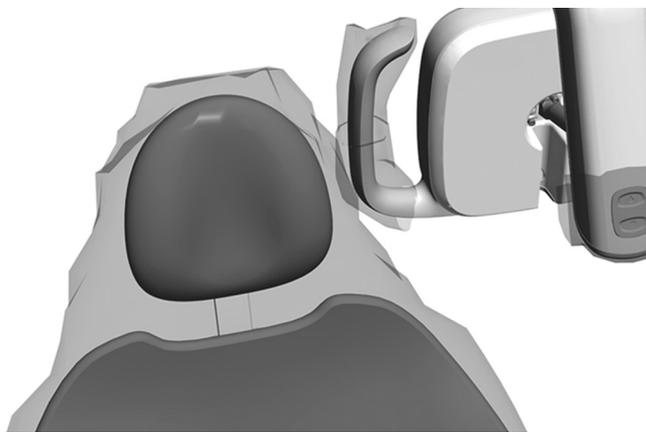
ハンドピース管フラッシュシステムを使うと、フットコントロールを使う場合より短時間で多くの水をフラッシュできます。患者の治療を終了するごとに管をフラッシュするには：

1. ハンドピースを外します。
2. 水冷却を使用するハンドピース管を束にして、シンク、スピットンまたは洗面器の上で持ちます。
3. コントロールヘッドの下にあるフラッシュトグルスイッチを見つけます(冷却空気/冷却水調節キーの横)。
4. トグルスイッチをハンドピースホルダーの方に20～30秒間引きます。



注 管の空気と水の供給ラインはすべて、各患者の治療後に20～30秒間放出します。

バリア保護



注 メーカーが規定しているバリアの使用および廃棄方法については、バリアの取扱説明書を参照してください。

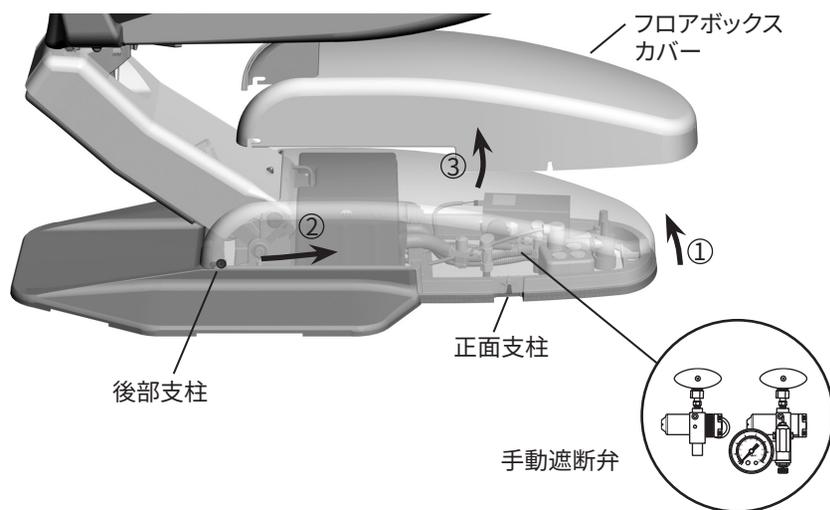
A-decでは人為接触面と器具接触面の両方にバリア保護を推奨しています。人為接触面とは人の手が触れる部分で、歯科治療中に交差汚染を引き起こす可能性がある場所を指します。器具接触面とは、器具などの無生物の物質が接触する場所を指します。

米国では、米国食品医薬品局 (USFDA: U.S. Food and Drug Administration) の医薬品適正製造基準 (CGMP: Good Manufacturing Practice) に従って生産されたバリアを使用する必要があります。米国以外の地域では、医療機器に関する各地の規制に従ってください。



重要 (バリア保護が適用されない、あるいはバリアに支障が生じた場合の) 人為接触面と器具接触面に推奨されるクリーニングや薬品による滅菌方法については、『A-dec器具滅菌ガイド』(部品番号(P/N)85.0696.05)を参照してください。

定期的に行うその他のシステム保守

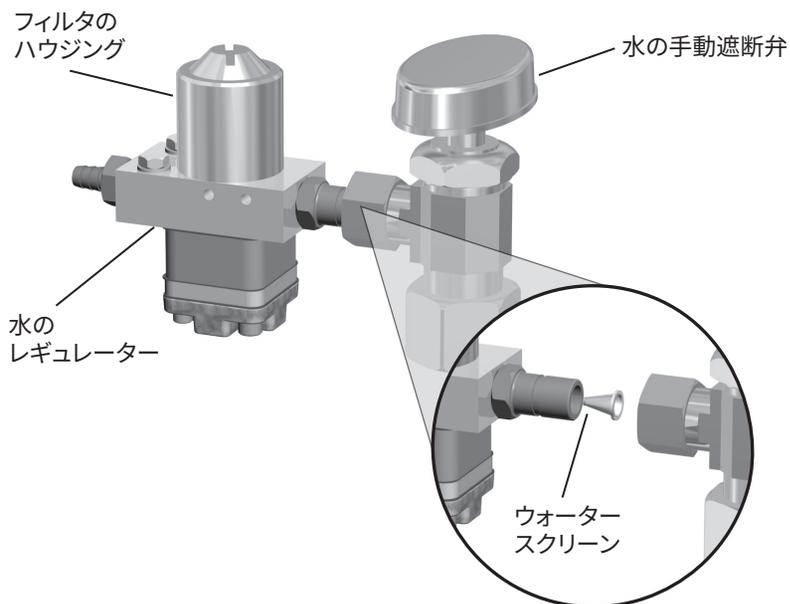
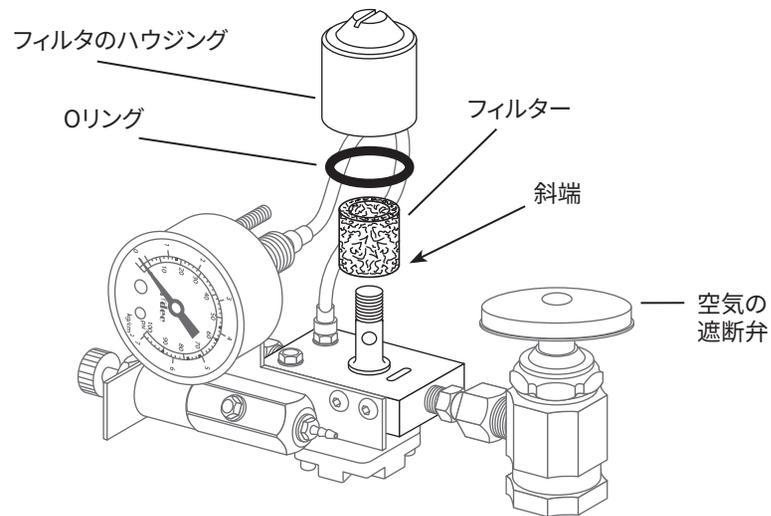


ユーティリティと遮断弁

システムのユーティリティはチェアの下フロアボックスにあります。ユーティリティにアクセスするには、正面支柱のフロントボックスカバーを持ち上げ(1)、手前に引き(2)、持ち上げて(3) カバーを後部支柱に向かってスライドさせます。

手動遮断弁はシステムへの空気と水の供給を制御します。漏れを防ぐために、修理点検中を除き、これらのバルブは常に全開の状態にしておきます(反時計回りにひねる)。

空気と水は別々のフィルタを通してレギュレータに送られます。フィルタが目詰まりして、供給が制限されるようになった場合は交換してください。



エアフィルターまたはウォーターフィルターの目詰まりを点検するには:

1. マスター切替スイッチをオンにします。
2. 空気圧ゲージを見ながら、シリンジエアのボタンを押します。空気圧が 103.4 kPa (15 psi) 以上低下している場合は、エアフィルターを交換します。
3. スピットンを見ながら、ボウル洗浄ボタンを押します。ボウル洗浄の水圧が弱まったり、水が流れないようであれば、ウォーターフィルターを交換します。

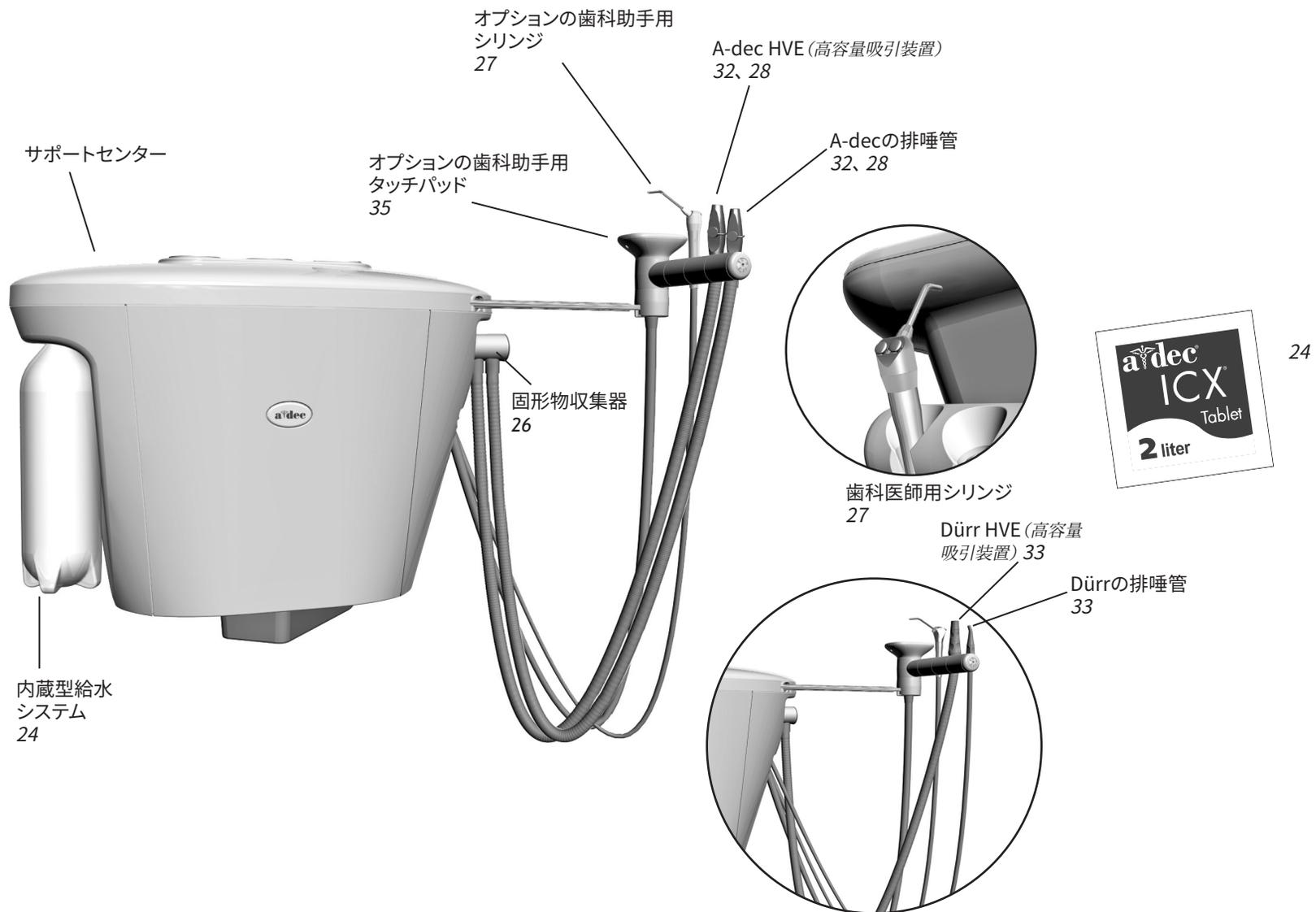


注意 デリバリーシステムが正しく作動するよう、フィルターの斜端側が多岐管を向くように取り付けます。

フィルターの点検と交換を行うには:

1. マスタートグルスイッチをオフにし、遮断弁を閉じます(時計回りに回す)。
2. シリンジボタンを操作して空気と水が流れなくなるまで、システムから空気圧と水圧を抜きます。
3. スクリュードライバーを使って、空気または水圧プリ・レギュレーターアセンブリのフィルターハウジングを外し、フィルターを外します。
4. フィルターが目詰まりしていたり、変色している場合は、交換してください。斜端になっている方がマニホールドを向くようにフィルターを取り付けます。

歯科助手用器具とサポートセンター



内蔵型給水システム



内蔵型給水システムは、シリンジおよびウォーターQDに水を供給します。このシステムには0.07リットルのウォーターボトルが含まれており、治療に使用する水の質を管理しやすくなっています。

A-decでは、システムを初めて使用する前に、歯科治療ユニットウォーターラインでショッククリーニングを実行することをお勧めしています。

また、ウォーターラインの継続的な維持管理として、A-dec ICX[®]ウォーターライン用タブレットの常時使用、歯科治療ユニットの水質の定期チェック、ショッククリーニングの3項目を実施するようにしてください。



重要 システムの水質維持に関する詳細は、ICXおよび内蔵ウォーターボトルに付属の取扱説明書を参照してください。

A-dec ICX	部品番号 (P/N) 86.0613.05
内蔵型給水システム	部品番号 (P/N) 86.0609.05
送水管保守ガイド	部品番号 (P/N) 85.0983.05

治療に使用する水の選び方

A-dec内蔵型給水システムに使用する適切な水は、地域で利用できる水道水の水質によります。常に良好な水質を提供できる水源を選択することが非常に重要です。A-decは、以下のとおり水道水またはボトル入り飲料水の使用を推奨しています。

- **水道水** — 自治体が供給する水の水質が信頼できる場合は、A-dec内蔵型給水システムの水ボトルへの水道水の使用を検討できます。

- **軟水** — 炭酸カルシウム量が200 mg/L以上(ガロンあたり11.7グレイン、リットルあたり2.0 mmol/L)の硬水地域では、硬水軟化剤を使用することにより、デリバリーシステムの機能に影響を及ぼす可能性がある沈着物の集積を防ぐことをお勧めします。水のpH値が地域の飲料水規制に準拠している必要があります。
- **ボトル入り飲料水(湧水、被圧水)** — 自治体が供給する水の水質について懸念がある場合は、商用のボトル入り飲料水(湧水、被圧水)をご利用ください。さまざまな種類のボトル入り飲料水が市販されています。ボトル入り飲料水(湧水、被圧水)にはミネラルが含有されていることがありますが、含有量は(硬水のように沈着物の集積が生じるほど)多すぎたり、少なすぎたりすることはありません。



警告 A-decは、蒸留水、脱イオン水、逆浸透水、または他の超純水の使用を推奨しません。これらの種類の水を長期間使用すると、システムに損傷を与え、性能低下につながるおそれがあります。

さらなる詳細は地域の規制をご参照ください。

ウォーターラインの維持管理

A-decでは、システムを初めて使用する前に、歯科治療ユニットウォーターラインでショッククリーニングを実行することをお勧めしています。

また、ウォーターラインの継続的な維持管理として、A-dec ICX®ウォーターライン用タブレットの常時使用、歯科治療ユニットの水質の定期チェック、ショッククリーニングの3項目を実施するようにしてください。



固形物収集器



危険 感染性の廃棄物が存在する可能性があります。交差汚染を防止するため、定められた滅菌手順に従ってください。

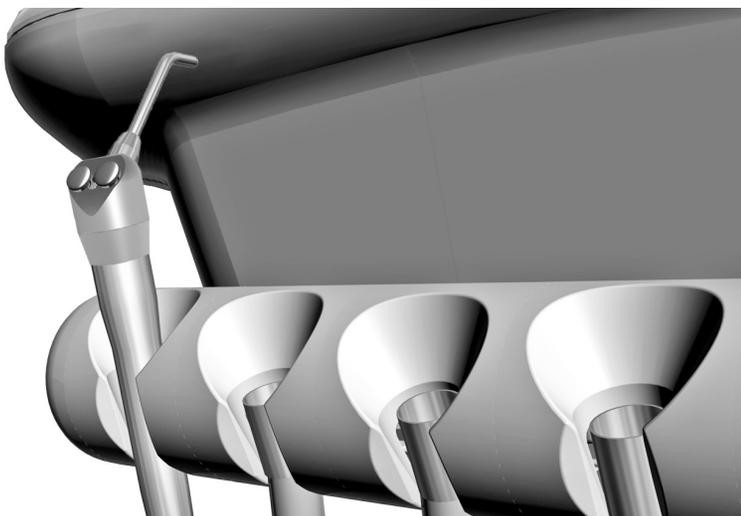


注意 スクリーンの中身をスピットンに空けないでください。排水口が詰まるおそれがあります。

セントラルバキューム装置が正しく作動し、治療室の滅菌状態が適切に維持されるように、固形物収集器のスクリーンを週に2回以上破棄し、交換してください。スクリーンを交換するには：

1. バキュームをオフにします。
2. 固形物収集器のキャップを外します。
3. 固形物収集器のスクリーンを外します。
4. 各地域の規制にしたがって、スクリーンを廃棄してください。
5. 収集器に新しいスクリーンを入れ、キャップを元に戻します。

シリンジ先端部のクリーニングと滅菌



警告 A-decのシリンジにはA-decのシリンジ先端部のみを使用してください。A-decのシリンジ先端部は、A-decシリンジ用に設計製造されています。A-dec以外のメーカーのシリンジ先端部を使用した場合、先端部が使用中に外れる恐れがあります。先端部が外れると誤飲や吸引事故の原因となる場合があります、ただちに医療処置が必要となります。

シリンジ先端部はすべてクリティカル器具と見なされ、使用ごとに加熱滅菌または破棄する必要があります。

滅菌前の洗浄

シリンジ先端部は滅菌前に必ず洗浄してください。

1. シリンジから先端部を外します。
2. 超音波洗浄を行うまで、先端部を保管液に浸しておきます。
3. 超音波洗浄を行います超音波洗浄装置に添付されている説明書の記載に従ってください。
4. 滅菌する前に、先端部から洗浄液を完全に除去します。

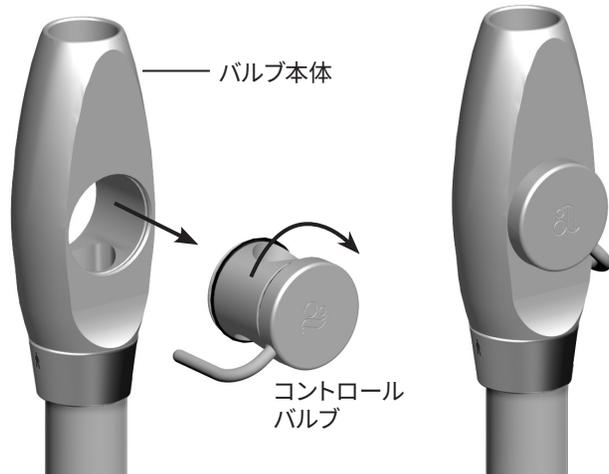
滅菌

1. このステップに従って、シリンジ先端部を滅菌します。
2. シリンジ先端部をきれいな水ですすぎます。
3. イソプロピルアルコールまたはそれと同様の滅菌液でフラッシュします。
4. 加熱滅菌装置を使って、4分以上134°C (273°F)で滅菌してください。



重要 シリンジの使用法、流量調節、および保守の詳細は、『A-decクイックディスコネクトシリンジ使用方法』(部品番号(P/N)85.0680.05)を参照してください。

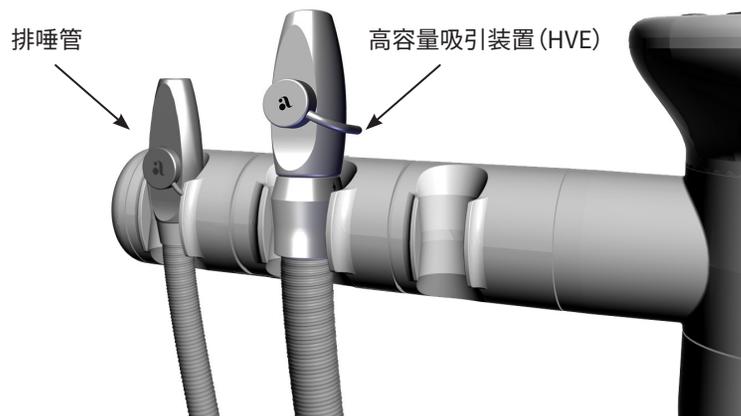
A-decの高容量吸引装置(HVE)/排唾管の右手用/左手用変更



注 バルブは、必ずバルブ本体に対して当初と同じ側に取り付け直してください。これを誤ると、HVEまたは排唾管が正しく動作しません。

標準の高容量吸引装置(HVE:high-volume evacuator)と排唾管を左手での操作用に切り替えるには、バルブ本体からコントロールバルブを押し出し、180°回転させてから元どおり差し込みます。

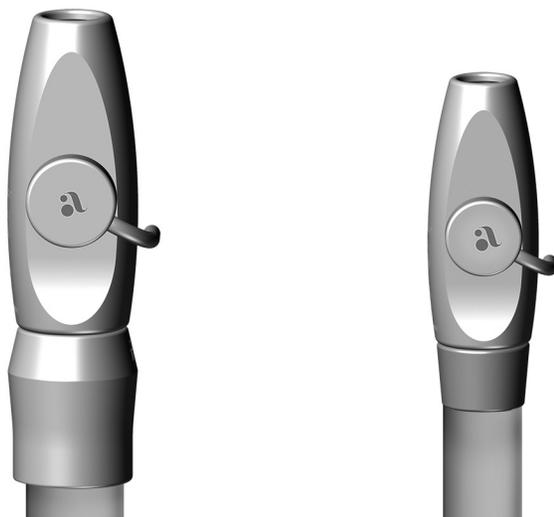
A-decのエアーバキュームシステム(AVS)



A-decの高容量吸引装置(HVE)と排唾管のAVSオプションには、専用のバキューム発生装置(AVG)が含まれています。

HVEまたは排唾管を起動するには、それらの器具をホルダーから持ち上げます。

A-decのHVE/排唾管のバルブ本体アセンブリの滅菌



注 1日の診療が終わった後、または診療所の手順に従って、バキュームラインは頻りにフラッシュしてください。

バリアを使用してHVEおよび排唾管の本体を保護する場合は、患者ごとにバリアを交換します。これらの器具は、1日の診療が終わった後(バリアに支障が生じた場合は患者ごと)にクリーニングと消毒を行ってください。バリアを使用しない場合、あるいは口腔内手術を行う場合は、必ず患者ごとにこれらの器具のクリーニングと消毒を行ってください。

クリーニングと滅菌



注意 バルブ本体アセンブリは、患者の治療後すぐに、毎回クリーニングしてください。器具に残った血液や残屑を乾燥させないでください。すぐにクリーニングできない場合は、バルブ本体アセンブリを湿った状態にしておいてください。



注 高希釈水性フェノール製剤またはイソプロパノール25%未満の第4級アンモニウム化合物のいずれかを含有する、EPAに登録された病院グレードの結核菌殺菌性(中等度)消毒剤を使用してください。

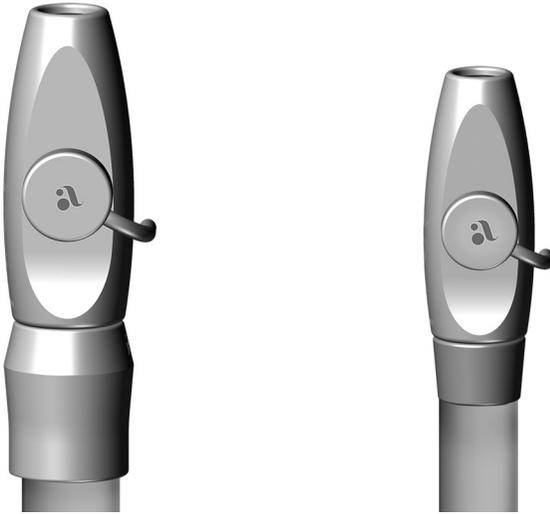


注 スプレー液剤を使用する場合は、糸くずが出にくい柔らかいシートにスプレーしてからバルブ本体アセンブリに塗布します。

HVEと排唾管のバルブ本体アセンブリをバキュームシステムから取り外さずにクリーニングおよび滅菌するには:

1. バキュームチップをHVEまたは排唾管のバルブ本体アセンブリから取り外します。使い捨てのバキュームチップを廃棄します。

高容量吸引装置 (HVE) / 排唾管のバルブ本体アセンブリの滅菌 (続き)



2. 除菌シートまたはスプレー液剤でバルブ本体アセンブリをクリーニングし、汚れを取り除きます。バルブ本体アセンブリは、メーカー推奨の接触時間に従って濡れた状態にしておきます。必要に応じて、バルブ本体アセンブリの汚れがなくなるまでこれを繰り返します。
3. 新しい除菌シートまたはスプレー液剤を使ってバルブ本体アセンブリを滅菌します。バルブ本体アセンブリは、メーカー推奨の接触時間に従って濡れた状態にしておきます。
4. バルブ本体アセンブリは空気乾燥させます。
5. HVEと排唾管のバルブを数回操作し、滑らかに回転することを確認します。



注 A-decバルブ本体アセンブリは、耐熱性があるため加熱滅菌可能です。使用者の判断で滅菌してください。

定期保守および滅菌

高容量吸引装置 (HVE) および排唾管をバキュームシステムから取り外した状態で定期的に保守および滅菌するには (頻度は使用者が決定) :



注意 バルブ本体アセンブリは、患者の治療後すぐに、毎回クリーニングしてください。器具に残った血液や残屑を乾燥させないでください。すぐにクリーニングできない場合は、バルブ本体アセンブリを湿った状態にしておいてください。

1. テールピースの部分を引っ張ってチューブを外し、バルブ本体アセンブリをバキュームラインから取り外します。
2. バルブ本体からコントロールバルブを押し出して、バルブ本体を分解します。
3. バルブ本体の部品に付いた汚れは、糸くずが出にくい柔らかいシートを使ってクリーニングします。

高容量吸引装置 (HVE) /排唾管のバルブ本体アセンブリの滅菌 (続き)



4. メーカーが推奨する指示に従って、中温(32~43°C [90~110°F])の洗浄液(中性pH酵素洗剤またはアルカリ性の非酵素洗剤)を準備します。
5. 準備した洗浄液に、汚れの付いたバルブ本体の部品を1分以上浸します。
6. Oリングを取り外し、点検します。損傷がある場合は、廃棄して交換します。
7. 柔らかいナイロンの毛ブラシ(またはそれと同等のもの)を使って、以下の部分の汚れを落とします。
 - バルブ本体の部品の露出面およびOリング(洗浄液に浸した状態で、最低30秒間、または汚れが見えなくなるまで擦ります)。
 - バルブ本体の内部ルーメン(内外)を3回以上。毛ブラシから目に見える汚れをすべて取り除きます。
8. クリーニングが終了したら、バルブ本体の部品に中温(32~43°C [90~110°F])の飲用水を流して30秒以上すすぎます。
9. バルブ本体の部品を空気乾燥させます。
10. 以下に従って、バルブ本体の部品を滅菌します。
 - 動的空気除去滅菌器:132~135°C(270~275°F)で4分間
 - 重力置換滅菌器:121~123°C(250~254°F)で30分間
11. 30分間乾燥させてから、滅菌器から取り出してください。次の作業に進む前に、バルブ本体の部品が完全に乾燥していることを確認してください。



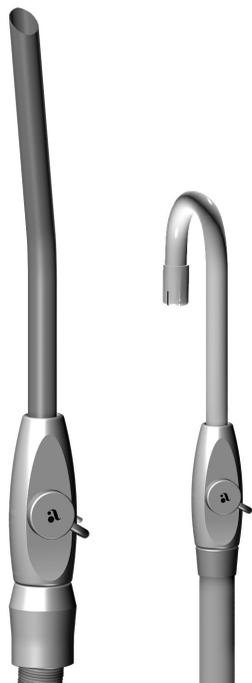
注意 A-decの黒いOリングにはシリコン潤滑剤のみを使用してください。石油を原料とする潤滑剤を使用すると、Oリングに永久的な損傷を与える場合があります。

12. 使用する前に、A-decのシリコン潤滑剤をOリングに塗布して、バルブ本体アセンブリを組み立て直します。

HVE/排唾管のバルブ本体アセンブリの滅菌 (続き)

13. バルブ本体アセンブリを管のテールピースに再度取り付けます。
14. 高容量吸引装置(HVE)と排唾管のコントロールバルブを数回操作し、滑らかに回転することを確認します。

HVE/排唾管チップの滅菌



注 お使いのHVEと排唾管の開口部に合ったチップをお選びください。仕様については、42ページの『DurrおよびA-decのHVEと排唾管の接続』を参照してください。

使い捨てチップ

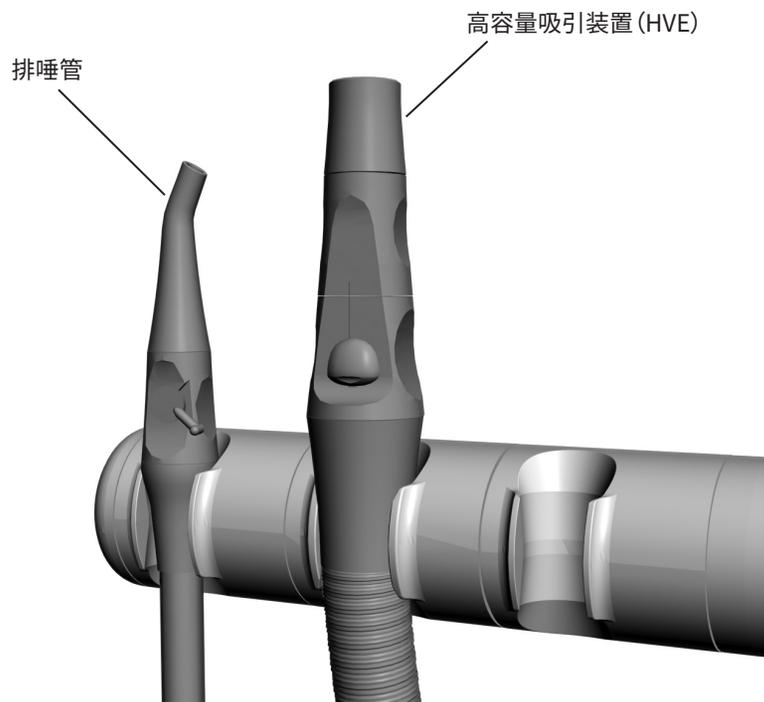


注意 HVEや排唾管の使い捨てチップは滅菌できません。使用後は必ず廃棄してください。



HVEと排唾管の使い捨てチップは、使用後に毎回交換します。

DürrのHVEと排唾管の滅菌



注意 HVEや排唾管の使い捨てチップは滅菌できません。使用後は必ず廃棄してください。



Dürrの高容量吸引装置(HVE)と排唾管の本体の保護にバリアフィルムを使用する場合は、毎週あるいは必要に応じてさらに頻繁に、これらの器具の洗浄と滅菌を行ってください。バリアフィルムを使用しない場合、あるいは口腔内手術を行う場合は、これらの器具を患者ごとにクリーニングと滅菌を行ってください。

HVEと排唾管をのクリーニングと滅菌を行うには:

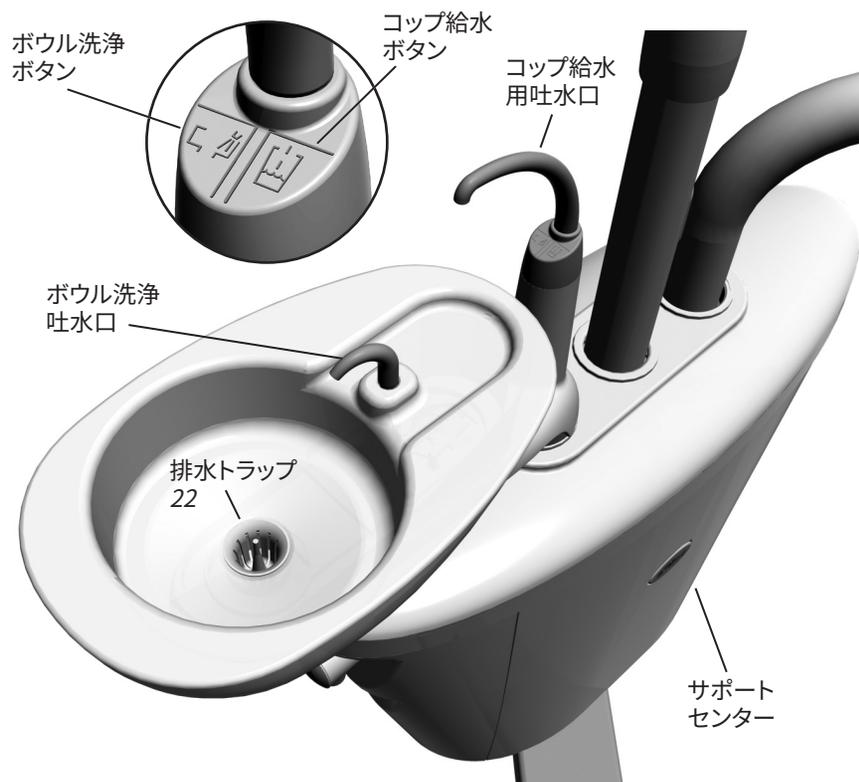
1. バキュームをオフにします。
2. HVEまたは排唾管からチップを取り外します。
3. テールピースの部分を引っ張ってチューブを外し、HVEや排唾管のバルブ本体を取り外します。
4. 付属のブラシと中性洗剤、水を使って、バルブ本体を洗浄し、すすぎます。
5. 器具を完全に乾かします。
6. 加熱滅菌装置を使って、6分以上 134°C (273°F) で器具を滅菌してください。



注意 Dürrの器具には、石油を原料とする潤滑剤のみを使用してください。シリコンを使った潤滑剤を使用すると、Oリングに永久的な損傷を与える場合があります。

7. 赤いOリングのシール部分に石油を原料とする潤滑剤を少量塗ります。
8. バルブ本体を管の尾部に取り付け直します。
9. HVEと排唾管が正しく作動し、滑らかに回転することを確認します。

スピットン



スピットンコップ給水機能とボウル洗浄機能は、ユーザーの指定する設定に基づきます。

標準スピットン

スピットンのコップ給水ボタンを希望の時間だけ押し続けます。ボタンを離すと水が止まります。

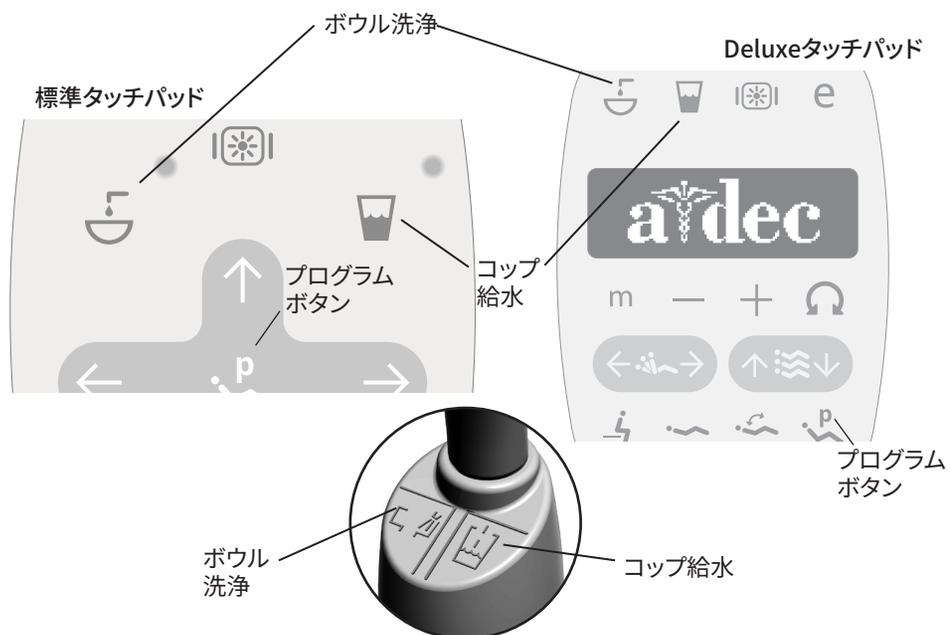
スピットンのボウル洗浄ボタンを1回押すと、30秒間ボウルに水が流れます。続けて水を流すには、ボタンを押し続けます。ボタンを離すとさらに15秒後に水が止まります。

歯科医師用タッチパッドの付いたスピットン

お使いのシステムに歯科医師用タッチパッドが付いている場合は、タッチパッドのボタンあるいはスピットンのボタンのどちらを使ってもボウル洗浄やコップ充填を行ったり、プログラムすることができます。

ボタン	説明と動作
 / 	コップ給水ボタン: <ul style="list-style-type: none"> コップ給水ボタンを短く押すと、プログラムされた時間間隔でコップに給水されます。給水の工場出荷時初期設定は2.5秒です。 コップ給水ボタンを押し続けると、手動操作で給水できます。
 / 	ボウル洗浄ボタン: <ul style="list-style-type: none"> ボウル洗浄ボタンを押すと、タイミング操作が有効になります。洗浄の工場出荷時初期設定は30秒です。 ボウル洗浄ボタンを押し続けると、手動操作で洗浄できます。

プログラム設定 (歯科医師用タッチパッド付き装置のみ)

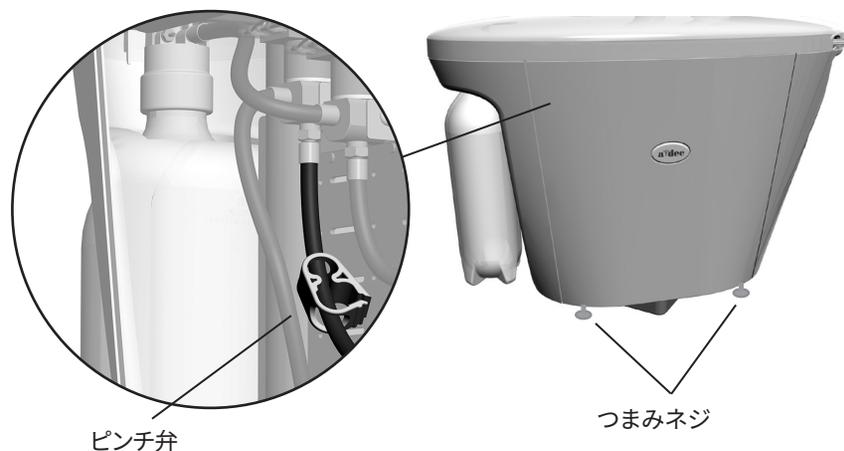


ヒント 2秒以内に \odot を2回短く押すと継続操作モードが起動します。ボウル洗浄ボタンを1回押すと継続ボウル洗浄モードが停止します。

時間設定によるコップ充填とボウル洗浄機能をプログラムし直すには:

1. タッチパッドのプログラムボタンを押すか、スピットンのコップ給水ボタンとボウル洗浄ボタンの両方を押し続けます。ピープ音が1回鳴ったらボタンを放します。
2. カップ充填ボタンまたはボウルリンスボタンを希望の時間だけ押します。
3. ボタンを離します。ピープ音が3回鳴り、プログラムが変更されたことを示します。

ボウル洗浄の流水量の調整



スピットンのボウル洗浄流量の調整機構は、サポートセンター内にあります。調節を行うには:

1. サポートセンターの底部の2つのつまみネジを緩め、注意しながらカバーを引っ張って外します。
2. スピットンボウル洗浄をオンにして、ピンチ弁を締めるか緩めるかして流量を調節します。
3. ボウル洗浄の吐水口を回転させて水の流れる方向を調節し、ボウルがきれいに洗浄されるようにします。

クリーニングと保守



排水トラップ

スピットンボウル



注意 スピットンをクリーニングする際には、吐水口を外さないでください。これはクリーニング剤が装置を傷めたり、コップに注入される水に洗剤が混入したりしないようにするためです。



注意 固形物収集器や排水トラップの中身をスピットンにあけないでください。スピットンの排水管が詰まってしまいます。クリーニング終了後は必ずボウルスクリーンをスピットンのボウルの排水口に取り付け、排水口にごみが詰まるのを防いでください。



危険 感染性の廃棄物が存在する可能性があります。交差汚染を防止するため、定められた滅菌手順に従ってください。

曲線を描く吐水口と丸みを帯びたハウジングで、素早くかつ簡単にクリーニングできるようになっています。スピットンをクリーニングする際は、毎回排水トラップを空にし、きれいにすることを忘れないでください。

重力排水のクリーニング

日々の診療時間終了後、スピットンに水を流して柔軟な排水管に詰まったごみを除去します。スピットンを定期的にフラッシュしないと、ごみが詰まって排水が悪くなります。スピットンをフラッシュするには、ボウル洗浄を60秒間続けます。

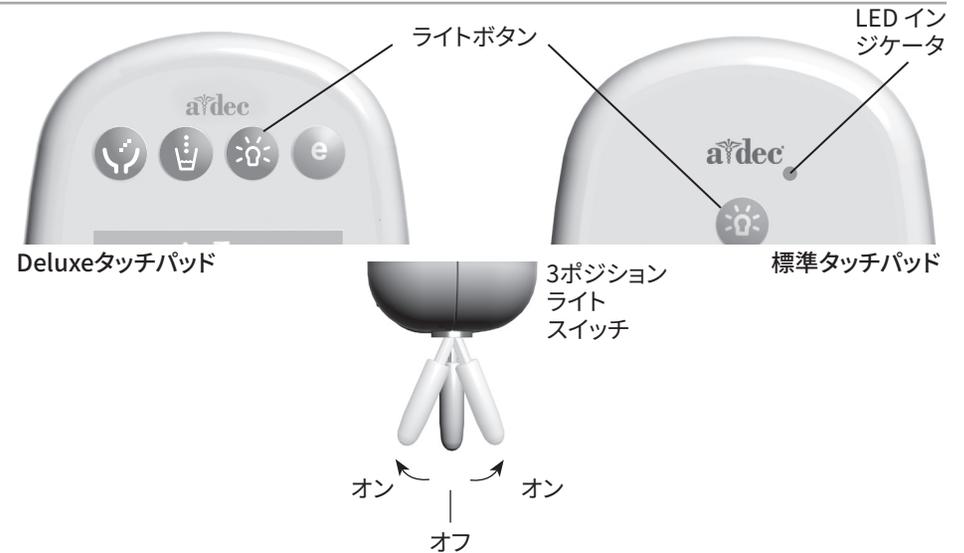
保守用パーツ

スピットンの交換用ボウルスクリーンが必要な場合は、部品番号(P/N) 75.0032.02をご注文ください。

歯科ライト



注:別の種類の歯科ライトがチェアに付いている場合は、歯科ライトに付属の取扱説明書をご覧ください。

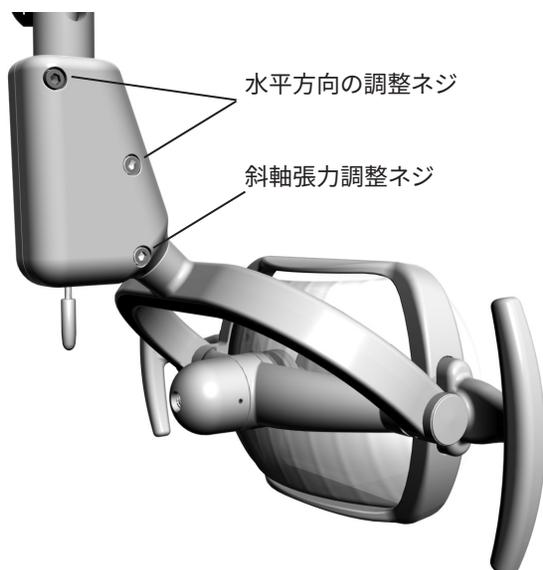
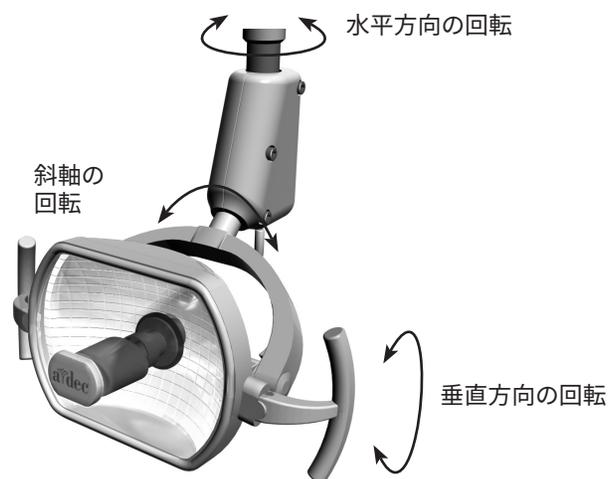


警告 歯科ライトを操作および保守する場合は、安全面の適切な予防措置を取ってください。ライトの点灯時には、高温になっている可能性のある部品に触れないようにしてください。火傷を避けるため、操作時にはライトのハンドルとスイッチのみに触れてください。常にライトをオフにし、完全に冷えるまで待ってから、保守または修理点検を行ってください。

A-dec 200歯科ライトは手動の3ポジションスイッチまたはオプションのタッチパッドで操作できます。手動スイッチが中央の位置にあるときは常に歯科スイッチがオフになっています。タッチパッドからライトをオンにするには、歯科ライトのボタンを押して離します。ライトを消すには、ライトボタンをしばらく押し続けます。

歯科ライトには強とコンジット(低)の2つの輝度があります。タッチパッドが付いていないシステムでは、3ポジションスイッチを中央の位置から左右いずれかに動かして強度を選択します。タッチパッドを使う場合は、歯科ライトのボタンを押して強度を選択します。歯科用ライトが複合に設定されると、標準タッチパッドのLEDインジケータが点滅します。

回転の調節



警告 保守または修理を行う場合は、必ず歯科ライトの電源を切り、完全に冷えるのを待ってから実行してください。

ライトヘッドの位置が調節しにくい場合、簡単に動き過ぎてしまう場合、または所定の位置からずれてしまう場合は、水平、斜め、垂直方向の張力を調節できます。

水平方向の回転

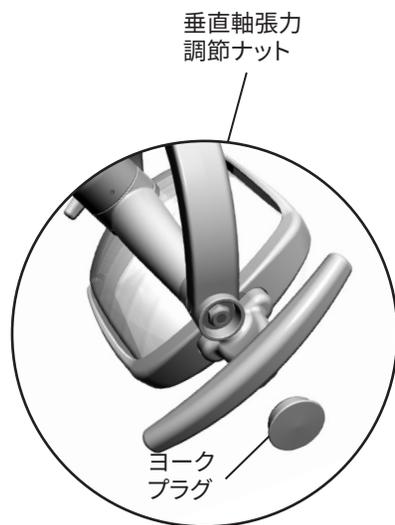
1. 六角レンチを使って、左右の回転を調節します。スイッチハウジングの両側の上のネジから始めます。
2. ライトヘッドが簡単に動いてしまったり所定の位置からずれてしまう場合は、ネジを時計回しに回して締めます。
3. ライトが動かしにくい場合は、ネジを反時計回りに回してゆるめます。

斜軸の回転

斜軸の回転については、スイッチハウジングの底にあるネジを調節します。

1. ライトヘッドが簡単に動いてしまったり、所定の位置からずれてしまう場合は、ネジを時計回りに回して張力を高くします。
2. ライトが動かしにくい場合は、ネジを反時計回りに回して緩めます。
3. 斜軸の動きをなくすには調整ネジを完全に締めます。

回転の調整 (続き)

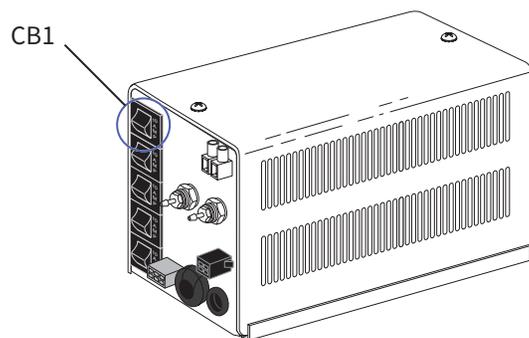


垂直軸の調整

垂直軸を調整するには、以下のステップに従います。

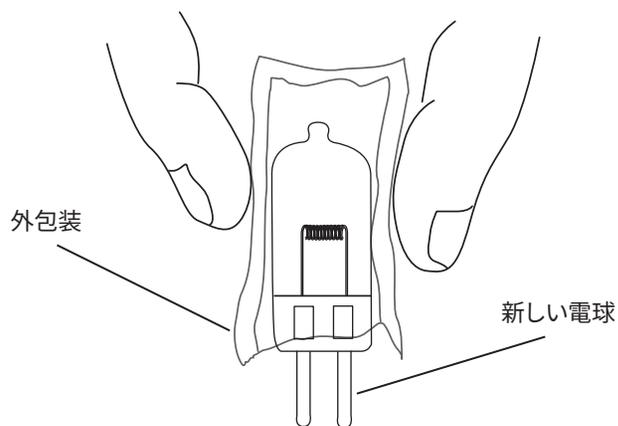
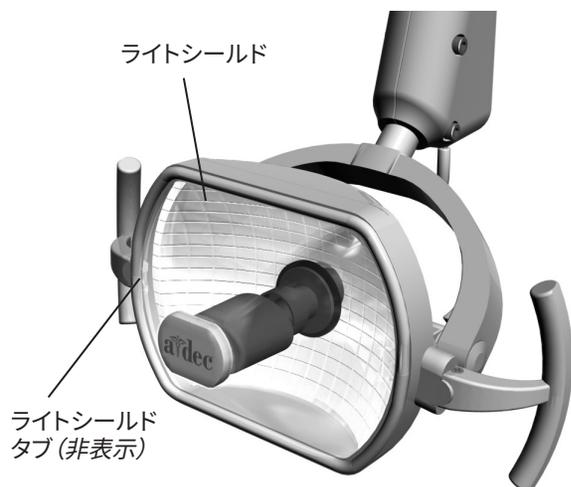
1. ライトの片側のヨークプラグを外します。
2. 5/16インチのナットドライバを使って調節ナットを時計回りに回すと張力が高まり、反時計回りに回すと張力がゆるみます。
3. ヨークプラグを取り付けます。

サーキットブレーカーの位置



異常が生じると、サーキットブレーカーが電流を遮断します。サーキットブレーカーが下りた場合は、電源装置のサーキットブレーカーボタンを押してリセットしてください。電源装置はフロアボックスカバーの下のユーティリティエリアにあります。

電球の交換



歯科ライトの電球を交換する際には、以下の手順に従ってください。



警告 指を火傷しないよう、電球は冷えてから外してください。ライトシールドを外した状態でライトは絶対に使用しないでください。クリアシールドにはUVを遮断する添加物が含まれています。また万が一電球が破損した場合の保護になります。



注意 電球の取扱いには注意を払ってください。電球のベースはもろく、力を加えすぎると壊れることがあります。新しい電球を取り扱う際には、外包装を取らないでください。指の皮脂がライトの性能に影響し、電球の寿命を著しく低下させることがあります。うっかり電球に触れてしまった場合は、イソプロピルまたはエチルアルコールを浸したコットンで軽く拭き取ってください。



注意 破損したタブをライトシールドを取り付けしないでください。タブが破損している場合、ライトシールドが落下し、製品が損傷や怪我につながる恐れがあります。

1. ライトをオフにして、電球の温度が下がるまで待ちます。
2. ライトシールドを持って片側をそっと掴みながらシールドをライトから外します。ライトシールドを置きます。
3. ガーゼパッドまたは布を使って指を保護し、ソケットから慎重に電球を外し、電球を廃棄します。
4. 新しい電球を包み紙に入れたまま、注意してソケットの電球ピンに挿入します。電球を完全に挿入しても各ピンが少し見える状態になります。
5. 外側の包み紙を外して捨て、ライトシールドを取り付けます。
6. ライトを点灯して輝度設定ごとにライトの動作を確認します。

歯科ライトシールドの保守



注意 シールドの清掃には洗剤と水のみを使用してください。アルコールを含む溶液やその他の化学消毒剤は使用しないでください。これらの溶液や消毒剤で拭くと製品の寿命が縮まります。



警告 火傷を避けるため、歯科ライトが完全に冷えるまで待ってからライトシールドを取り外してください。シールドを外したままライトを使用しないでください。クリアシールドにはUVを遮断する添加物が含まれています。また万が一電球が破損した場合の保護になります。

歯科ライトシールドの性能と寿命を最大限に保つには、洗剤と水のみを使用してシールドを清掃してください。アルコールを含む溶液は使用しないでください。シールドを取り外して清掃するには、以下の手順に従ってください。

1. ライトを消し、完全に冷えるまで待ちます。
2. ライトシールドを持って片側をそっと掴みながらシールドをライトから外します。
3. 研磨剤の含まれていない少量の中性液体洗剤と温水でシールドを洗浄します。
4. 洗剤を水で洗い流し、柔らかい布で拭きます。
5. シールドが完全に乾いていることを確認してから、シールドを取り付け、歯科ライトを点灯します。

シールドに傷が付いたり破損したりした場合は、A-decの正規販売代理店から交換品をご購入いただけます。

これらの歯科ライトの保守アイテムについては、A-dec取扱店にお問い合わせください。

歯科ライト共通交換部品

説明	部品番号
電球	041.709.00
ライトシールド	97.0411.00



仕様



チェアの最大耐荷重

患者の体重: 181kg (400 lb)



必要な空気、水、バキューム供給量

空気: 80 - 125 psi (550 - 860 kPa) で 2.5 scfm (71 sL/分) 最小
 水: 60 ± 20 psi (410 ± 140 kPa) で 1.5 gpm (5.7 リットル/分) 最小
 バキューム:
 (ウェット): 最小 10 ± 2 inHg (34 ± 7 kPa) で 9 scfm (255 sL/分)
 (ドライ): 最小 4.5 ± 1 inHg (16 ± 3.5 kPa) で 12 scfm (340 sL/分)

DürrおよびA-dec HVEと排唾管の開口部

標準高容量吸引装置(HVE): 11 mm (0.433インチ) (15 mmのチップが使用できるようにHVEの変更も可能)
 排唾管: 開口部径 6 mm (0.236インチ) (標準のSEチップ)



歯科ライト操作仕様

集束範囲: 305 mm ~ 686 mm (12 ~ 27インチ)
 電球: 電球: クォーツハロゲンキセノン、シングルエンド
 ランプ定格: 17V / 95W
 色温度: 4800ケルビン(公称、高強度にて)
 ライトパターン: 700mmで230 mm x 110 mm
 (27.6インチで9 x 4.3インチ)

公称輝度

複合: 5,500ルクス (511フートキャンドル)
 高: 20,000ルクス (1394 fc)
 熱出力: 325 BTU/時



重要 チェアの付属品の重量制限、電氣的仕様、記号の説明、ならびにその他の規制要件に関しては、『規制情報、仕様、および保証』(部品番号(P/N)86.0221.05)に記載されています。この文書は、www.a-dec.comのドキュメントライブラリから入手できます。



注 仕様は予告なく変更されることがあります。要件は地域によって異なる場合があります。詳細はA-dec正規取扱店にお問い合わせください。

保証



保証に関する情報は、『規制情報、仕様、および保証使用方法』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、www.a-dec.com のドキュメントライブラリから入手できます。



A-dec本社

2601 Crestview Drive
Newberg, Oregon 97132
United States

電話: 1.800.547.1883 米国/カナダ国内
電話: +1.503.538.7478 米国/カナダ国外
www.a-dec.com

A-dec Australia

Unit 8
5-9 Ricketty Street
Mascot, NSW 2020
Australia

電話: 1.800.225.010 オーストラリア国内
電話: +61.(0).2.8332.4000 オーストラリア国外

A-dec China

A-dec (Hangzhou) Dental Equipment Co., Ltd.
Building 5, No.528 Shunfeng Road
Tangqi Town, Yuhang District,
Hangzhou, Zhejiang, China 311100

電話: 400.600.5434 中国国内
電話: +86.571.89026088 中国国外

A-dec United Kingdom

Austin House
11 Liberty Way
Nuneaton, Warwickshire CV11 6RZ
England

電話: 0800.ADEC.UK (2332.85) イギリス国内
電話: +44.(0).24.7635.0901 イギリス国外



86.0024.05 Rev M
発行日 2021年02月12日
Copyright 2021 A-dec, Inc.
無断複写・複製・転載を禁ず。